

簡單原寸印刷

Ver 1.1

操作手順書

目次

1. はじめに	4
2. 簡単原寸印刷の起動方法について	4
3. 簡単原寸印刷の終了方法について	7
4. 本ソフトの基本操作について（画像を開いて印刷する）	7
4-1. 画像を開く	7
4-2. 画像情報について	10
4-3. ファイルリストについて	11
4-4. 簡易イメージについて	12
4-5. 画面下部のボタンについて	12
4-6. 本ソフトの印刷設定を行う	13
4-7. 【重要】原寸印刷に必要な条件について	18
4-8. 印刷プレビューで印刷イメージを確認する(必要に応じて)	19
4-9. 印刷する	21
4-10. プリンターに原寸で印刷されたことを確認する	27
5. 本ソフトの応用操作についてーその 1（画像を連続で原寸印刷する）	27
5-1. 現在開いている画像のフォルダを連続で原寸印刷する	27
5-2. 別の画像フォルダを選択して連続で原寸印刷する	33
5-3. 連続印刷中にエラーが発生した場合の本ソフトの動きについて	36
6. 本ソフトの応用操作についてーその 2（画像情報の出力）	38
6-1. 現在開いている画像のフォルダに格納されたファイルの画像情報を出力する	39
6-2. 別の画像フォルダを選択してファイルの画像情報を出力する	42
7. 定形外用の紙サイズのご利用方法について	45
8. プリンター以外への出力について	49
9. 本ソフトのボタン等の選択状態（フォーカス）の移動について	52
10. ライセンス情報の入力について	53
11. ヘルプメニューとバージョン情報の確認について	54
12. 本ソフトのアンインストール（削除）について	55
12-1. コントロールパネルからアンインストールする	55
12-2. 本ソフトのセットアッププログラムを利用してアンインストールする	56
12-3. アンインストールについてのトラブルシューティング	59
13. 本ソフトのバージョンアップについて	60
14. トラブルシューティング	60
14-1-1. 本ソフトの起動時や利用中に Norton のエラーが表示される（ケースその 1）	60

14-1-2. 本ソフトの起動時に下図のようなエラーが表示される（ケースその2）	60
14-1-3. 本ソフトの起動時に下図のようなエラーが表示される（ケースその3）	61
14-2. 本ソフトの「開く」などのボタンをクリックした際にエラーが表示される ...	62
14-3. 本ソフトが他のウィンドウに隠れてしまう	62
14-4. 本ソフトを強制終了したい場合	63
15. 本ソフトのその他の補足事項について	64
15-1. 本ソフトのデータ処理中の動きについて	64
15-2. 本ソフトのバージョン情報やマニュアル変更履歴等を記述したファイルについて	64

1. はじめに

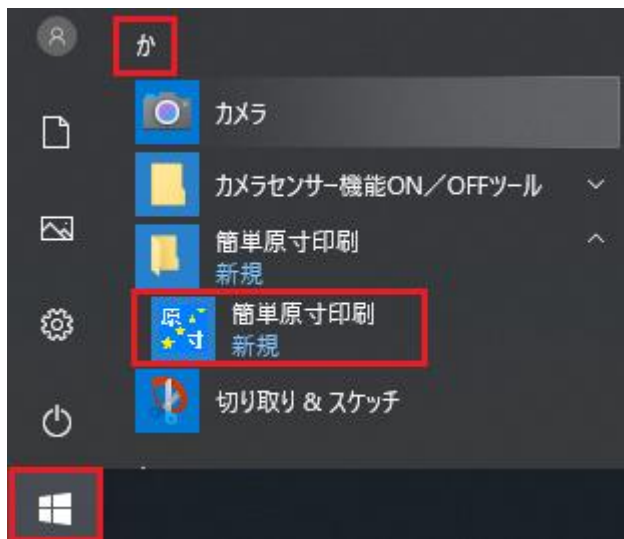
本資料では「簡単原寸印刷」の起動方法や終了方法、及び、基本的な操作方法についてご説明しています。本資料で利用している画像及び手順は主に Windows 10 (一部 Windows 11 及び Windows 8) の物になります。また、補足となりますが、本資料に記載されている会社名、製品名、サービス名等は、各社の商標または登録商標です。

2. 簡単原寸印刷の起動方法について

2-1. 本ソフトの起動操作

先ほど、本ソフトのインストール手順書の最後の部分でもご説明しましたが、Windows 10 場合、スタートメニューのアプリの一覧(Windows 11 の場合は「すべてのアプリ」)からキーワードで「か」の項目を表示して頂き、その中にある「原寸」と書かれた水色のアイコンをクリックすると(※Windows 10 の場合は「簡単原寸印刷」のフォルダの中にアイコンがあります)、本ソフトが起動します。

※Windows 10 の場合



※Windows 11 の場合



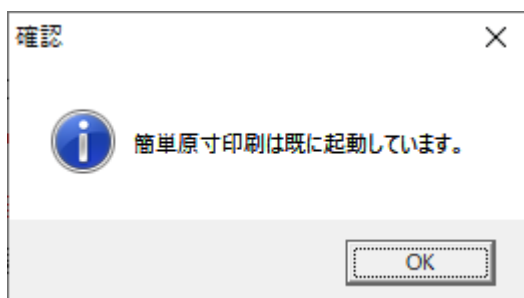
【補足】

本ソフトの起動中に「インストールされているプリンターの情報を取得しています。しばらくお待ちください...」というメッセージや「前回選択されたプリンターの情報を読み込んでいます。しばらくお待ちください...」というメッセージが表示されますが、PC の処理が高速の場合、表示が見えづらいことがあります。あらかじめご了承ください。

【注意点】

本ソフトは 2 重起動に対応していないため、本ソフトを起動中に、さらに本ソフトを別

途起動しようとする、下図のメッセージが表示されます

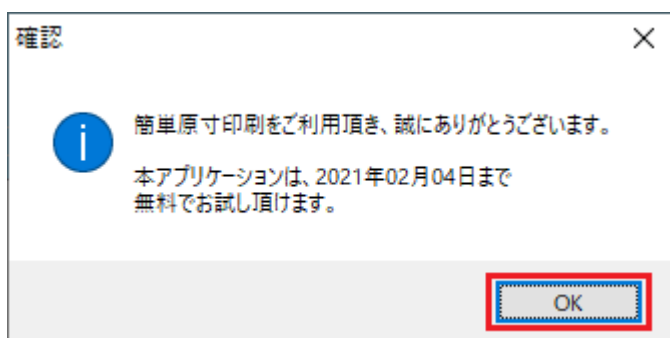


上図のメッセージが表示された場合は、お手数ですが「OK」ボタンをクリックして閉じてください。また、ご利用の WindowsPC が完全に起動しきらない内に、本ソフトを起動した場合等、まれに本ソフトの 2 重起動と判断され、上図のメッセージが表示されることがありますので、この点にご留意ください。

2-2. 本ソフトの起動直後の状態

2-2-1. 試用期間のメッセージについて

本ソフトが起動すると、メインウィンドウの表示と同時に下図のような試用期間に関するメッセージが表示されます(試用期間は本ソフトの初回起動日を含む 15 日となります)。内容をご確認頂き「OK」ボタンをクリックしてください。



※ライセンスをご購入頂き、ライセンス番号を本ソフトに登録すると、上図のメッセージは表示されなくなります。

2-2-2. メインウィンドウについて

本ソフトのメインウィンドウは下図のようになっています。



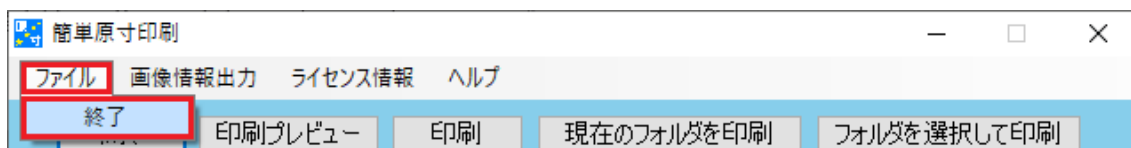
また、Windows のタスクバーには、下図赤枠部のように本ソフトの「原寸」と書かれた水色のアイコンが表示されます。



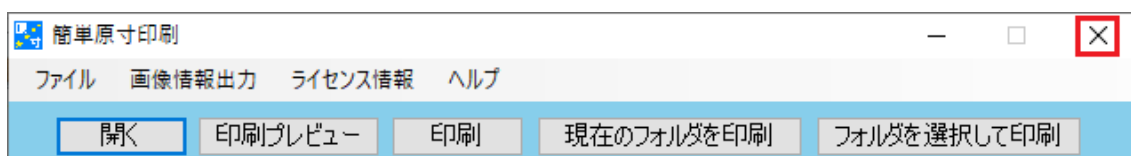
3. 簡単原寸印刷の終了方法について

本ソフトの終了方法は2通りあります。

まず、1つ目の方法ですが、下図のように画面左上の「**ファイル**」メニューから「**終了**」をクリックすることで本ソフトを終了できます。



もう1つの方法ですが、下図のように画面右上の「**×**」ボタンをクリックすることでも、本ソフトを終了することができます。



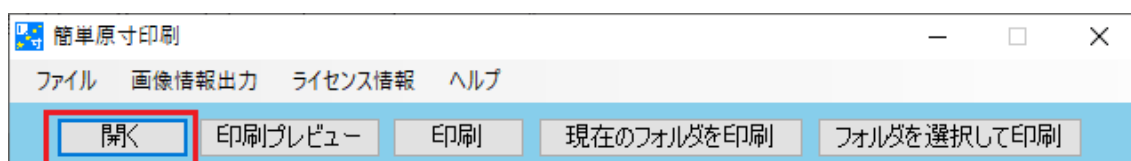
4. 本ソフトの基本操作について（画像を開いて印刷する）

ここでは、本ソフトの基本的な操作方法と併せて、画面上のメニューやボタンなどの機能についてご説明します。

4-1. 画像を開く

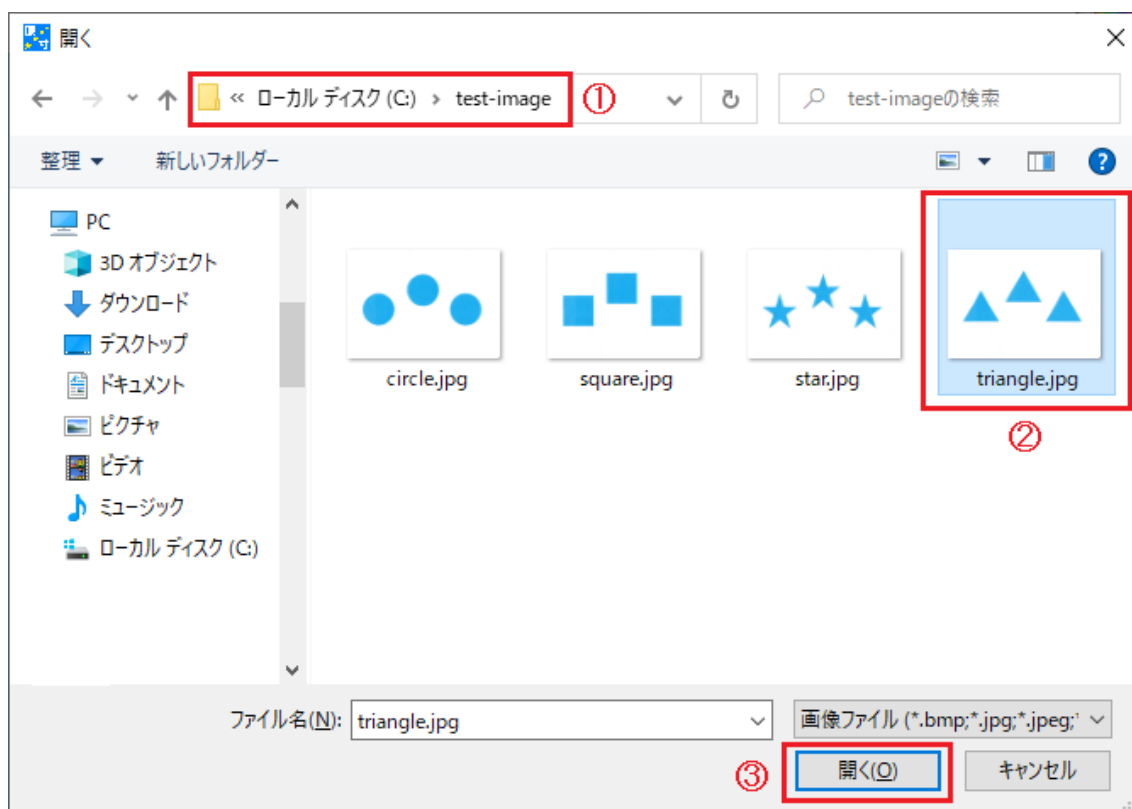
本ソフトは、スキャナーでスキャンして保存した画像を本ソフトで開いて原寸で印刷するソフトのため、まず初めに原寸で印刷したい画像を開くことから始めます。

画像を開くには、本ソフトの画面上部にある「**開く**」ボタンをクリックします。



すると、下図のように「**ファイル選択ダイアログ**」が表示されます。ここで、スキャンデータが格納されたフォルダを開いて頂き(①)、開きたい画像を選択して(②)、最後に「開く」ボタンをクリックします(③)。

※本資料では、事前に A4 用紙に描かれた図形(計 4 枚)をスキャナーにて「解像度 170dpi」でスキャンし、C ドライブの中の「test-image」というフォルダにそのスキャンした画像を保存した場合の例でご説明します。また、下図のファイル選択ダイアログでは、三角形のファイル(triangle.jpg)を選択したとします。



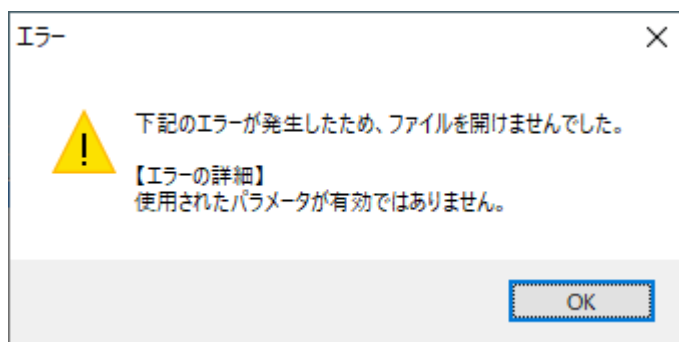
ここで、上図のようにファイルを開く際の注意点について何点か補足させていただきます。

【補足その 1】

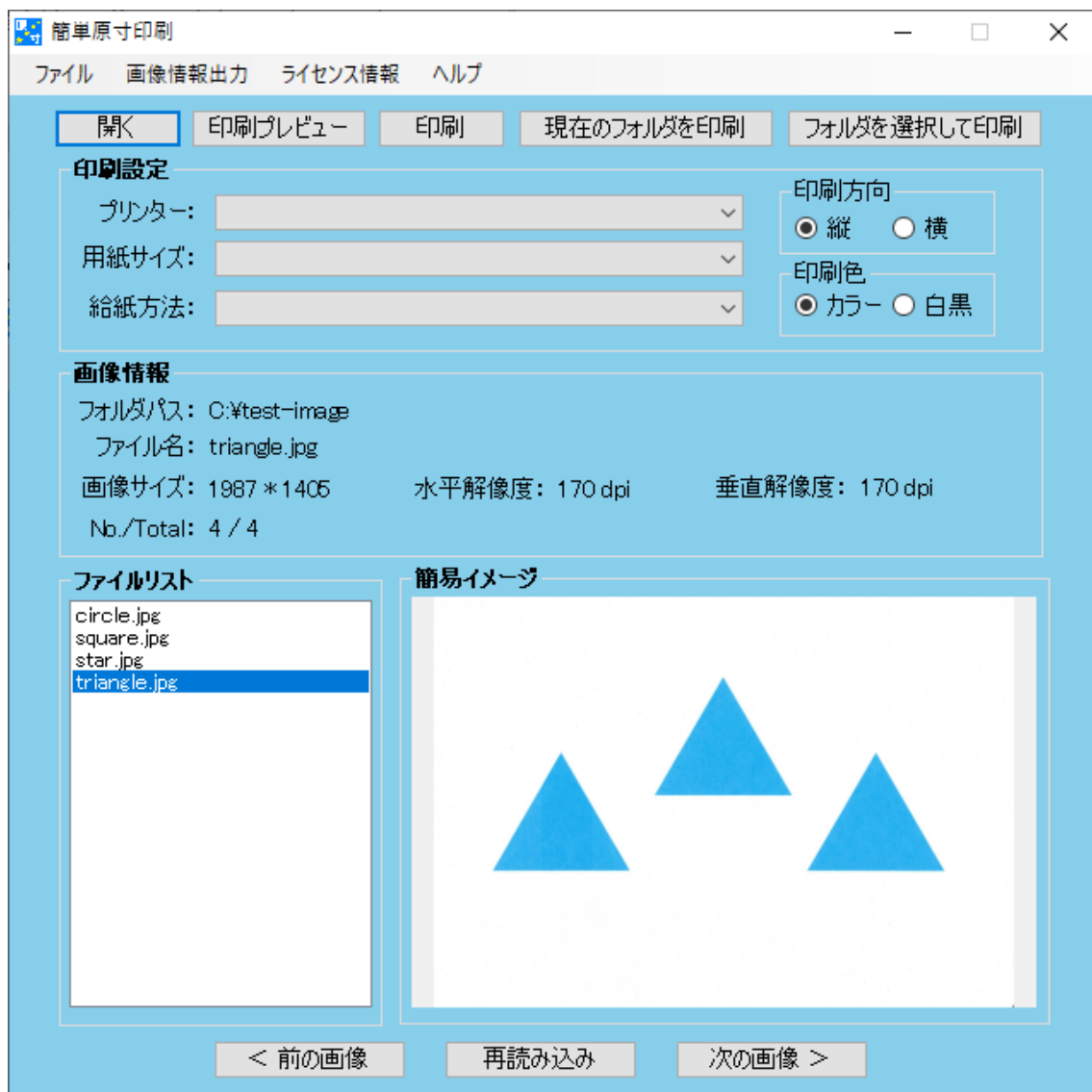
上図のファイル選択ダイアログで選択できる画像ファイルは、拡張子が **BMP** , **JPG** (**JPEG**) , **PNG** , **TIF (TIFF)** のファイルとなります。

【補足その 2】

上図で選択されたファイルが壊れている等、何らかの理由で本ソフトが画像を開けなかった場合、下図のようなエラーメッセージが表示されますので、該当ファイルについて、ご利用者様にて、正常な画像ファイルかどうか、ご確認をお願い致します。

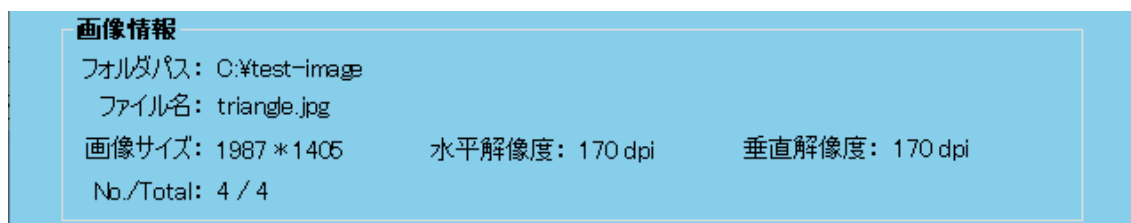


補足については、以上となります。ファイル選択ダイアログでファイルを開くと、本ソフトの画面が下図のような状態になります。画面上、「画像情報」、「ファイルリスト」、「簡易イメージ」の部分に情報やイメージが表示されているのがお分かり頂けるかと思います。ここでは、それぞれの項目の意味についてご説明します。



4-2. 画像情報について

本ソフトでは、画像を開くと、下図の「**画像情報**」のエリアに、開いた画像に関する各種情報が表示されます。



下記に各項目の意味についてご説明します。

フォルダパス：この部分には、開いた画像が格納されているフォルダパスが表示されます。

フォルダパスが長い場合、全て表示されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ファイル名：この部分には、開いた画像のファイル名が表示されます。

画像サイズ：この部分には、開いた画像の画像サイズ(幅×高さ)が表示されます。

水平解像度：この部分には、開いた画像ファイルに記録された水平解像度が表示されます。

垂直解像度：この部分には、開いた画像ファイルに記録された垂直解像度が表示されます。

No. /Total：この部分には、後述する「ファイルリスト」において、上から何番目のファイルかという情報(「/」の前の数値)と、開いた画像が格納されているフォルダ内に存在するトータルのファイル数の情報(「/」の後の数値)が表示されます。

ここで、上記の項目について何点か補足させていただきます。

【補足その1：解像度の項目について】

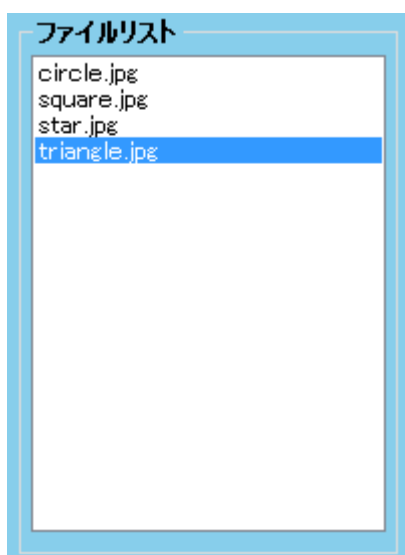
一般的に、画像に記録される解像度は1つと思われがちですが、内部的には、上記のような形で水平解像度と垂直解像度という2つの解像度を持っています。そのため、本ソフトでもこの両方の情報を表示しています。特殊な画像でない限り、この水平解像度と垂直解像度は同じとなります。また、画像によっては、解像度の数値について、小数点以下の値を持つ場合もありますが、本ソフトでは、分かりやすさのため、解像度の小数点以下の値について、小数点第一位を四捨五入して整数値で表示していますので、あらかじめ、ご了承ください。

【補足その2：No./Total の項目について】

この項目のNo.の数値についてですが、後述する「ファイルリスト」において上から何番目のファイルかを表す番号で、本ソフトが便宜的に決めている番号となります(番号自体に特に意味はありません)。

4-3. ファイルリストについて

続いて、「**ファイルリスト**」の部分についてご説明します。本ソフトの「開く」ボタンで画像を開くと、**下図のファイルリストのエリアに、開いた画像と同じフォルダ内にある全ての画像ファイルのファイル名が表示され、開いた画像のファイル名が選択された状態となります。**また、ファイルリストで、他のファイル名の部分をクリックすると、そのファイルが選択され、後述する「簡易イメージ」にその画像が表示されます。



ここで、上図のファイルリストについて何点か補足させていただきます。

【補足その1】

上図のファイルリストに表示されるファイル名は本ソフトが便宜的に並び替えて表示しています(並び順に特に意味はありません)。また、**Windows** のエクスプローラーの並び順と必ずしも一致するとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

【補足その2】

上図のファイルリストで選択されたファイルが壊れている等、何らかの理由で本ソフトでその画像を開けなかった場合は、エラーメッセージが表示されますので、該当ファイルについて、ご利用者様にて、正常な画像ファイルかどうか、ご確認をお願い致します。また、エラーが発生した場合、後述の「簡易イメージ」の部分は非表示となります。

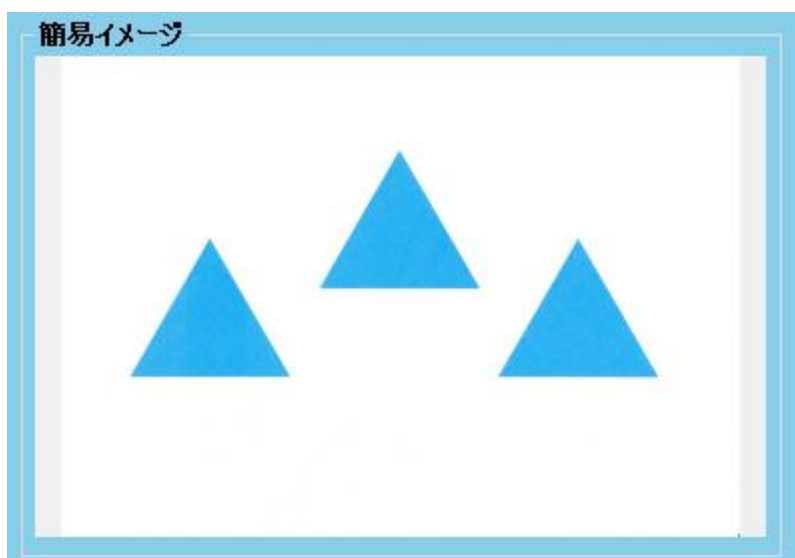
【補足その3】

ファイルリストに**フォーカス(※)**がある場合は、キーボードの上下の矢印キー「↑」「↓」でファイルの選択を移動できます。**フォーカス**については、後述の「9. 本ソフトのボタ

ン等の選択状態（フォーカス）の移動について」の項で詳しく説明しています。また、ファイルリストの最上端や最下端のファイルが選択された状態で、それぞれ「↑」キーや「↓」キーを押した場合、選択カーソルはそれ以上移動しません(ファイルの選択が最下端や最上端に移動するような循環的な動きはしません)ので、あらかじめご了承ください(本ソフトの仕様となります)。

4-4. 簡易イメージについて

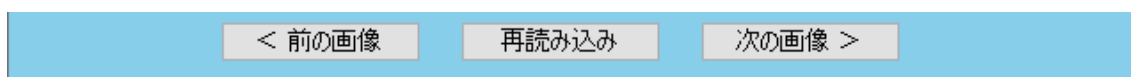
続いて、「**簡易イメージ**」についてご説明します。本ソフトの「開く」ボタンで画像を開くと、**下図の簡易イメージのエリアに、開いた画像のイメージが簡易的に表示されます。**



※上図の簡易イメージについて補足になりますが、他の部分でも少し触れていますが、画像ファイルがエラーなどで開けなかった場合は、上図のエリアは非表示(グレー表示)となります。また、本ソフトは、ファイルリストにあるすべての画像ファイルのイメージをメモリー上に保持しているのではなく、ファイルが選択される都度、ファイルから読み込んで簡易イメージのエリアに表示する方法を採用しています。

4-5. 画面下部のボタンについて

ここで、本ソフトの画面下部のボタンについてご説明します。



<前の画像: このボタンをクリックすると、ファイルリストで選択されているファイルより1つ上(前)のファイルが選択されます。また、簡易イメージの画像も選択され

た画像に切り替わります。ファイルリストの一番上のファイルが選択されている状態で、このボタンを押すと、ファイルリストの最下端のファイルが選択されます(循環的な動きをします)。

再読み込み：このボタンをクリックすると、現在選択されている画像が、ファイルから再読み込みされます。例えば、ある画像ファイルが本ソフトで選択され、簡易イメージに表示されていたとして、その画像を画像編集ソフトなどで編集した後、このボタンを押すと、ファイルから再読み込みされ、簡易イメージの表示も編集後のものに更新されます。また、このボタンには、本ソフトを起動中に現在表示している画像と同じフォルダ内の画像ファイルのファイル数に増減があった場合、ファイルリストの表示も更新する役割もありますので、フォルダ内の画像の増減があった場合は、このボタンを押して頂くと、ファイルリストが最新の状態でご利用頂けます(※)。ここで、このボタンのご利用時の注意点になりますが、現在選択され、簡易イメージに表示されている画像ファイルについて、フォルダから削除された後に、このボタンを押すと、エラーメッセージが表示されますので、この場合はお手数ですが、本ソフトの「開く」ボタンからご利用されたい画像を改めて開き直してください。

次の画像＞：このボタンをクリックすると、ファイルリストで選択されているファイルより1つ下(後)のファイルが選択されます。また、簡易イメージの画像も選択された画像に切り替わります。ファイルリストの一番下のファイルが選択されている状態で、このボタンを押すと、ファイルリストの最上端のファイルが選択されます(循環的な動きをします)。

上記の「**再読み込み**」のボタンの解説の(※)の部分の補足になりますが、「**＜前の画像**」と「**次の画像＞**」のボタンには、ファイルリストの更新機能はありませんので、あらかじめご了承ください(本ソフトの仕様となります)。

4-6. 本ソフトの印刷設定を行う

手順 4-1.～手順 4-5.までで、画像の開き方と、それに関連する部分や機能についてご説明しました。ここからは、印刷に関連する部分である、下図の印刷設定についてご説明します。



印刷設定	
プリンター:	<input type="text"/>
用紙サイズ:	<input type="text"/>
給紙方法:	<input type="text"/>
印刷方向	<input checked="" type="radio"/> 縦 <input type="radio"/> 横
印刷色	<input checked="" type="radio"/> カラー <input type="radio"/> 白黒

プリンター：この部分で、印刷に使用するプリンタを選択します(※)。「プリンター：」と書かれた右側の部分をクリックすると、下図のようにご利用者の環境で利用可能なプリンターがプルダウンメニューの形で表示されます。

印刷設定

プリンター: [プルダウンメニュー]

用紙サイズ: OneNote (Desktop)
OneNote for Windows 10
PDF24 PDF
PDF24 Fax
Microsoft XPS Document Writer
Microsoft Print to PDF
Fax
EP-810A Series(ネットワーク)
Canon Inkjet MP470 series

印刷方向
☒ 縦 ☐ 横

印刷色
☒ カラー ☐ 白黒

画像情報
フォルダパス: [空]
ファイル名: triangle.jpg
画像サイズ: 1987 * 1405 水平解像度: 170 dpi 垂直解像度: 170 dpi
Nb./Total: 4 / 4

上記の(※)の部分について、補足になりますが、上図のプルダウンメニューで選択したプリンタですが、印刷に使用されるプリンタとして決定したわけではなく、後述する印刷処理実行時に表示される印刷ダイアログで優先的に選択されるプリンタとなります。

本例では、下図のようにプリンタとして「EP-810A Series(ネットワーク)」を選択した場合の例でご説明します。

印刷設定

プリンター: [プルダウンメニュー]

用紙サイズ: OneNote (Desktop)
OneNote for Windows 10
PDF24 PDF
PDF24 Fax
Microsoft XPS Document Writer
Microsoft Print to PDF
Fax
EP-810A Series(ネットワーク)
Canon Inkjet MP470 series

印刷方向
☒ 縦 ☐ 横

印刷色
☒ カラー ☐ 白黒

画像情報
フォルダパス: [空]
ファイル名: triangle.jpg
画像サイズ: 1987 * 1405 水平解像度: 170 dpi 垂直解像度: 170 dpi
Nb./Total: 4 / 4

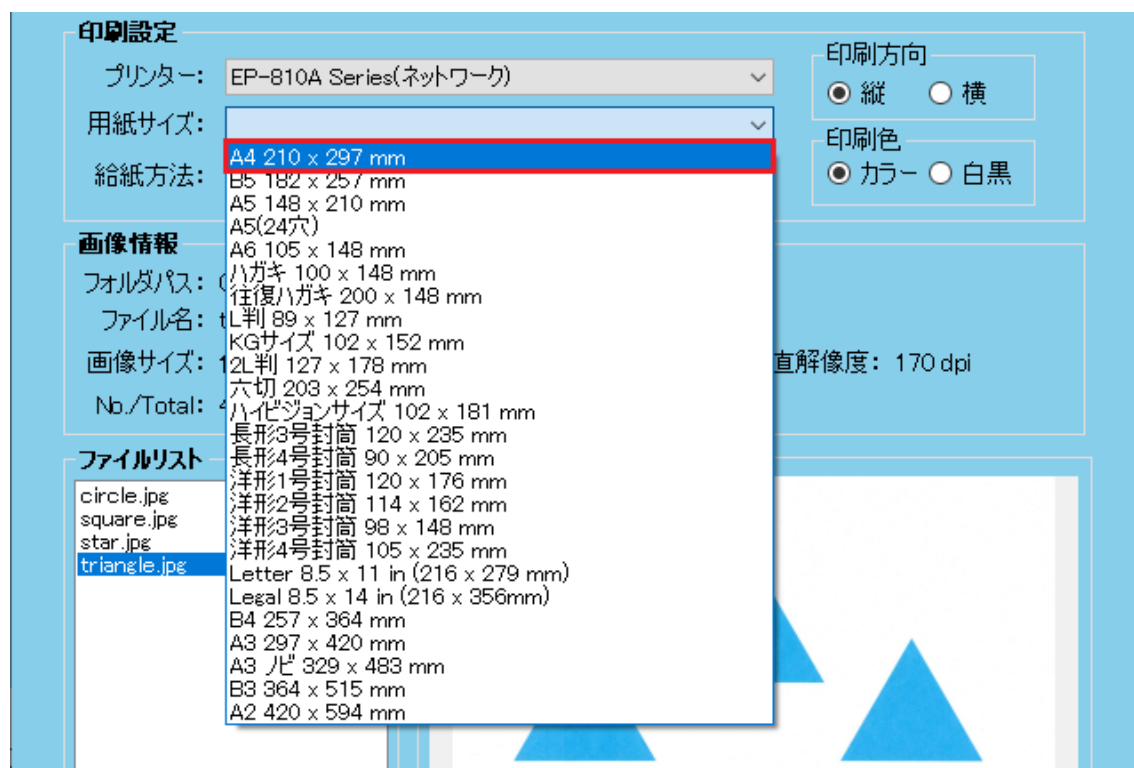
上図のプルダウンメニューでプリンターを選択すると、下図のようなメッセージが表示されます。これは、選択されたプリンターが持っている用紙や給紙方法などの情報を取得する処理を行うためです。

Please wait...

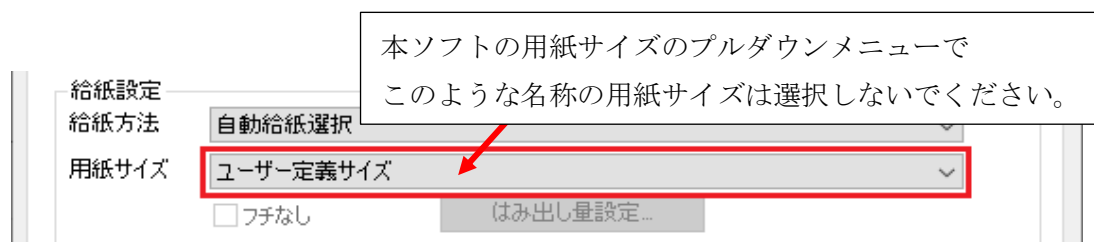
選択されたプリンターの情報を取得しています。
しばらくお待ちください...

続いて、次の項目についてご説明します。

用紙サイズ：この部分で、印刷に利用する用紙を選択します。「用紙：」と書かれた右側の部分をクリックすると、下図のように、先ほどの手順で選択したプリンターが情報として持つ用紙サイズがプルダウンメニューの形で表示されます。本例では下図赤枠部のように用紙として「A4」サイズを選択した場合の例でご説明します。



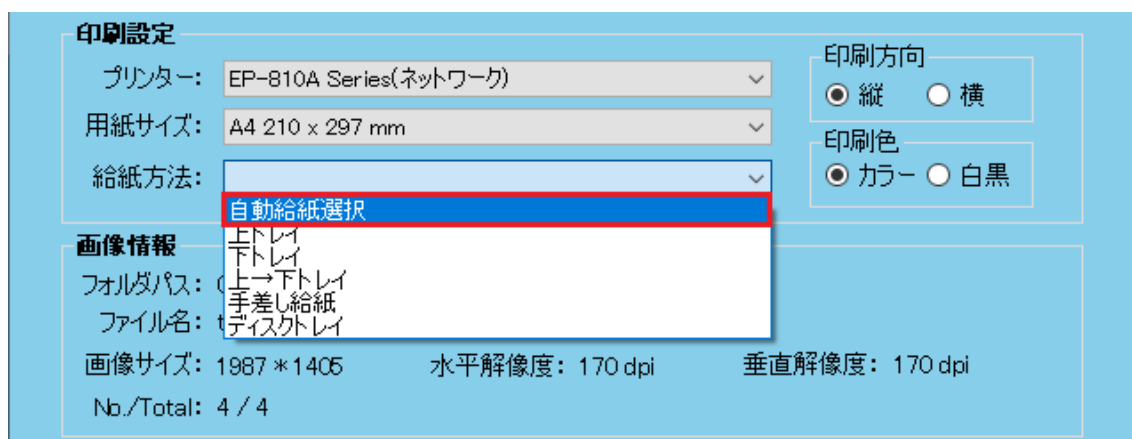
※ここで、上図の用紙サイズの選択時の注意点になりますが、下図のように Windows の「プリンターのプロパティ」の用紙サイズの部分で選択できる「ユーザー定義サイズ」のようなデフォルト名称の定形外用紙サイズは、仮に表示されたとしても選択しないでください。この名称の用紙サイズに定形外のサイズが設定されていたとしても、本ソフトには A4 サイズ等、一般的なサイズとしか認識されない可能性があります。定形外の用紙サイズのご利用方法については、本資料の「7. 定形外の用紙サイズのご利用方法について」をご覧ください。



また、用紙サイズの名称に「フチなし」や「ふちなし」のようなキーワードが含まれた用紙サイズも指定しないでください。このような用紙サイズを選択すると、後述の「4-9. 印刷する」の部分でご説明している Windows の印刷設定の「フチなし」のチェックが選択されてしまい(情報が連携してしまい)、原寸で印刷されなくなるためです。

用紙サイズの注意点については以上となります。続いて次の項目についてご説明します。

給紙方法: この部分で、プリンターに出力する給紙方法(トレイ)を選択します。「給紙方法:」と書かれた右側の部分をクリックすると、下図のように、先ほどの手順で選択したプリンターが情報として持つ「給紙方法(トレイ)」がプルダウンメニューの形で表示されます。本例では下図赤枠部のように給紙方法として「自動給紙選択」を選択した場合の例でご説明します。



続いて、印刷設定の右側にある「印刷方向」と「印刷色」の部分についてご説明します。印刷方向は、基本的に画像が縦長の場合は「縦」を、横長の場合は「横」を選択します。本例で画像として選択している「triangle.jpg」は横長ですので、下図のように「横」を選択しています。また、印刷色は、プリンタに実際に印刷する際の色の選択になりますが、プリンターが白黒プリンターの場合に「カラー」を選択しても無効となりますので、ご注意ください。また、後述する「印刷プレビュー」の機能では「白黒」を選択しても画面上、カラーで表示されますが、こちらは本ソフトの仕様となりますので、あらかじめご了承ください。本例では「カラー」を選択してご説明します。



手順 4-6.の手順で、印刷設定は下図のように設定されました。



印刷設定

プリンター: EP-810A Series(ネットワーク) ▼

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm ▼

給紙方法: 自動給紙選択 ▼

印刷方向
☐ 縦 ☒ 横

印刷色
☒ カラー ☐ 白黒

ここで、印刷設定の部分について何点か補足させていただきます。

【補足その 1】

本ソフトの印刷設定で設定した各項目は、本ソフトの終了時に自動的に保存され、次回起動時に呼び出されます。

【補足その 2】

印刷設定でプリンターを変更すると(**同じプリンターを再選択した場合も同様となりますが**)、そのプリンターに対応する「用紙サイズ」と「給紙方法」が、それぞれのプルダウンメニューにセットされます。また、この際、「印刷方向」と「印刷色」の設定もリセットされますので、この点にご注意頂き、必要に応じて再設定をお願い致します。

【補足その 3】

本ソフトでは、基本的に印刷設定の「プリンター」,「用紙サイズ」,「給紙方法」の各項目を設定して利用しますが、**本ソフトの初回起動時等、それぞれの項目を設定せずに、後述の「印刷プレビュー」や「印刷」機能を利用した場合、プリンターは「通常使うプリンター」、用紙サイズは「A4」用紙等、システムで標準的な項目が内部的に選択されます。**また、印刷設定で選択したプリンターによっては「給紙方法」の項目を持たない物もありますので、あらかじめご注意ください。

【補足その 4】

「用紙サイズ」と「給紙方法」のそれぞれのプルダウンメニューには、印刷設定で選択した「プリンター」が情報として持つ全ての候補が表示されます(**本ソフトの仕様となりますが、相互に絞り込みは行われません**)。例えば、本資料の例で利用しているプリンターでは、「A4」サイズ用の紙を「上トレイ」にセットできませんが、本ソフトでは、選択した「給紙方法(トレイ)」に対する「用紙サイズ」の絞り込みは行われないため、プルダウンメニューで「A4 サイズ」,「上トレイ」という組み合わせの設定自体はできてしましますが、実際の印刷時は無効となり、選択した「給紙方法(トレイ)」で印刷可能な用紙に強制的に変更されますので、この点にご注意の上ご利用ください。

4-7. 【重要】原寸印刷に必要な条件について

ここで、重要なポイントのご説明となりますが、本ソフトの水平解像度と垂直解像度に表示された解像度(dpi)の数値がスキャナーでスキャンした際に設定した解像度(dpi)の数値と同じであることをご確認ください(この点が原寸印刷のために必要な条件となるためです)。ちなみに、本手順書では、解像度 170dpi で図形をスキャンした例でお伝えしていますが、下図赤枠部のように水平解像度、垂直解像度ともに 170dpi と表示されていますので原寸印刷する条件を満たしています。



もし、上記赤枠部の解像度の数値がスキャナーでスキャンした際に設定した解像度の数値と異なる場合は、本ソフト作成者(Hide)の方で運営している下記のブログ記事をご参考にして頂き、画像ファイルに正しい解像度を設定した上で、原寸印刷したい画像ファイルを本ソフトで開き直してください。

【画像ファイルに解像度を記録する方法について】

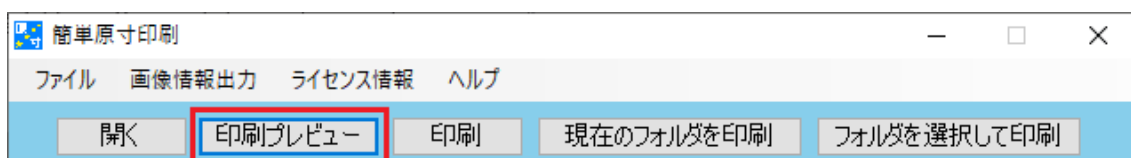
<https://www.benri-tool.com/how-to-set-resolution/>

原寸印刷に必要な条件についてのご説明は以上となります。

次のページに続きます...

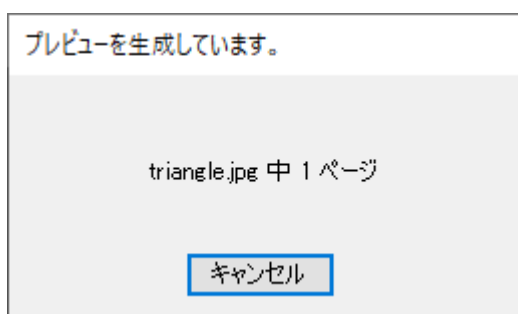
4-8. 印刷プレビューで印刷イメージを確認する(必要に応じて)

ここで、下図のように本ソフトの画面上部にある「印刷プレビュー」ボタンをクリックして、実際に印刷を実行する前に、どのような形で印刷されるかを確認してみます。この印刷プレビューの操作は必須ではありませんので、必要に応じて実施してください。

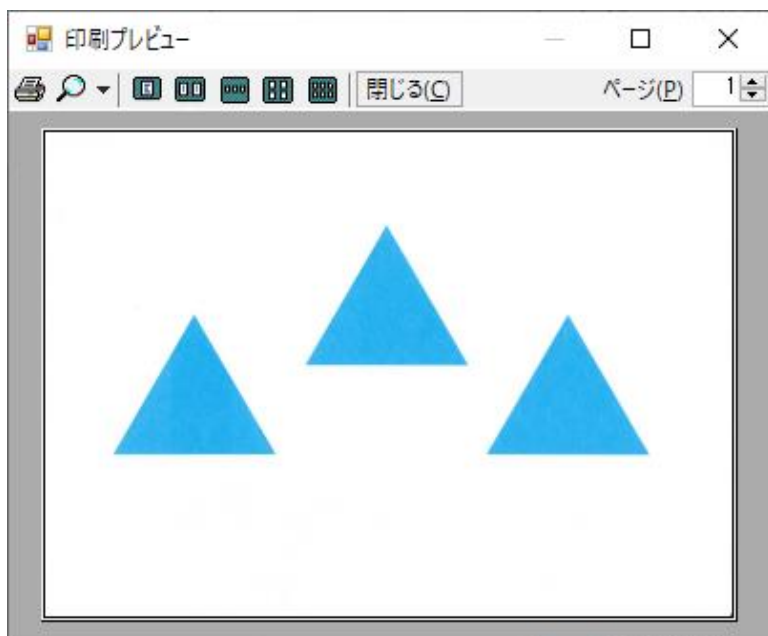


すると、下図のように、印刷プレビューを作成中である旨の画面が表示されます。

【補足】印刷プレビューはケースにより画像が表示されるまで少し時間がかかることがありますので、表示されるまでそのままお待ちください。



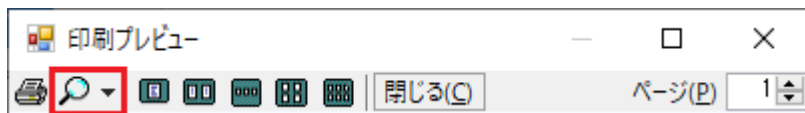
続いて、下図のように印刷プレビュー画面が表示されますので、印刷イメージを確認できます。印刷プレビューを実行すると、用紙からのみ出しの有無など、簡易的なチェックができますので便利かと思います。



ここで、印刷プレビューの画面について何点か補足させていただきます。

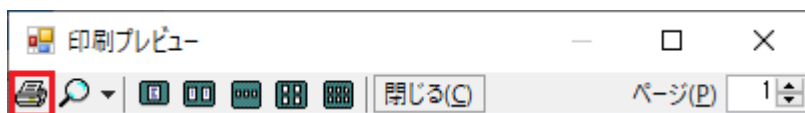
【補足その1：虫眼鏡アイコンについて】

下図赤枠部の虫眼鏡アイコンの右側の▼マークをクリックすると、印刷プレビューに表示された画像を拡大縮小ができます。

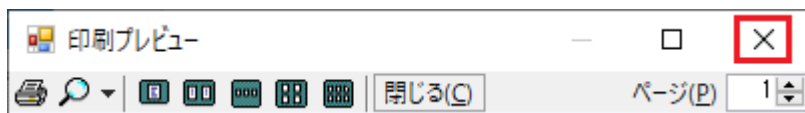


【補足その2：プリンターアイコンについて】

ご注意：下図赤枠部のプリンターアイコンですが、このアイコンをクリックすると、特に確認画面は出ずに、印刷プレビュー画面に表示されている画像が直接プリンターに印刷されます。この時に利用されるプリンターは本ソフトの印刷設定で設定されたプリンター(プリンターを設定していない場合は通常使うプリンター)に出力されます。印刷ダイアログが表示されず、また、印刷設定が正しい設定か確認しないまま、プリンターに出力されますので、このアイコンを利用した印刷は、本ソフトでは推奨しておりません。印刷は基本的に本ソフトの画面上部の「印刷」ボタンからお願い致します。

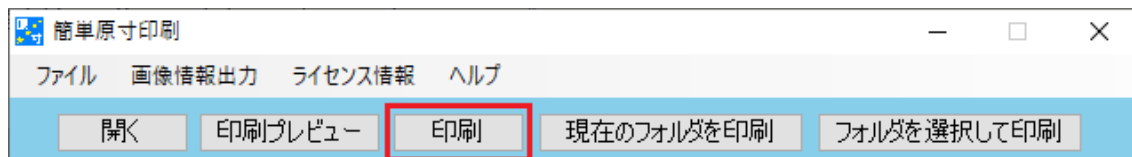


印刷プレビューで印刷イメージの確認ができましたら、下図赤枠部のように画面右上の「×」ボタンで画面を閉じます。

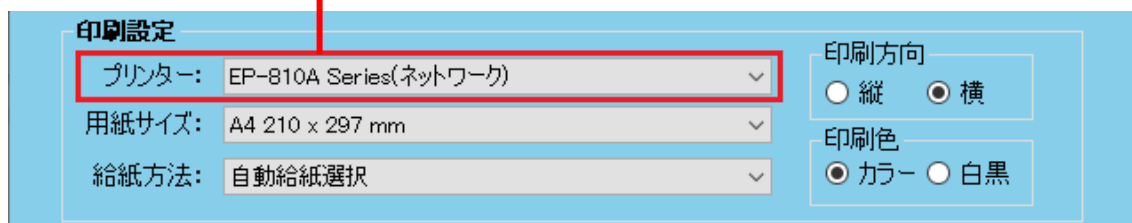
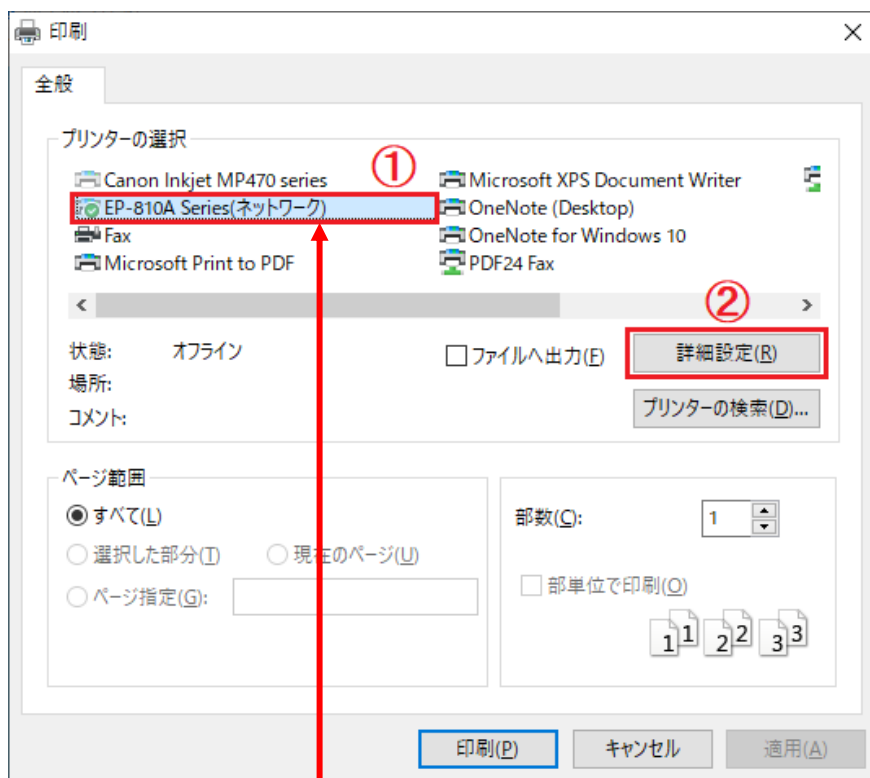


4-9. 印刷する

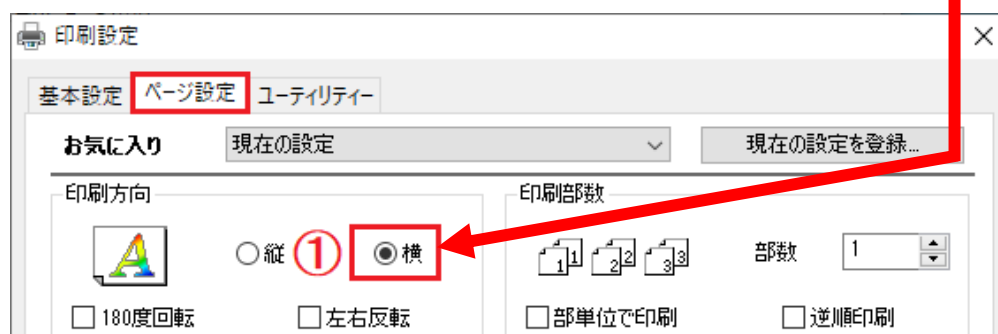
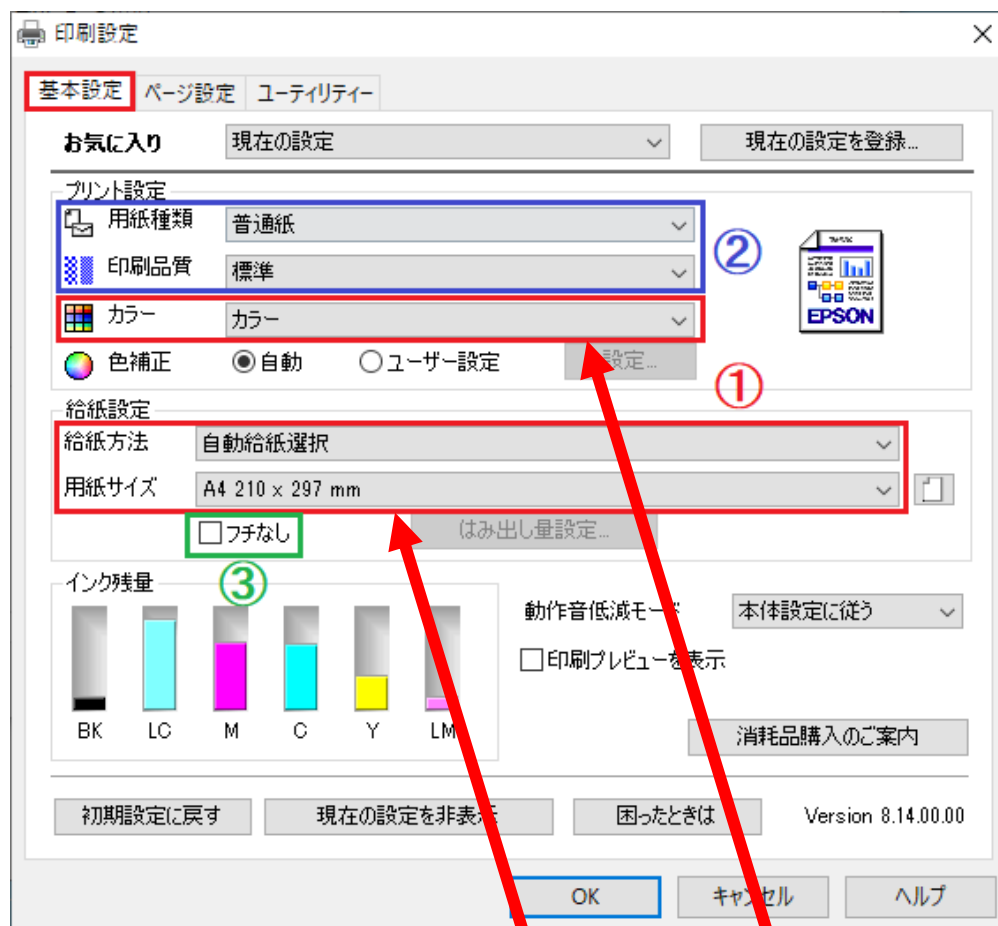
ここまでの操作で、原寸印刷するための準備が整いましたので、下図のように本ソフトの画面上部にある「印刷」ボタンをクリックして印刷を行います。



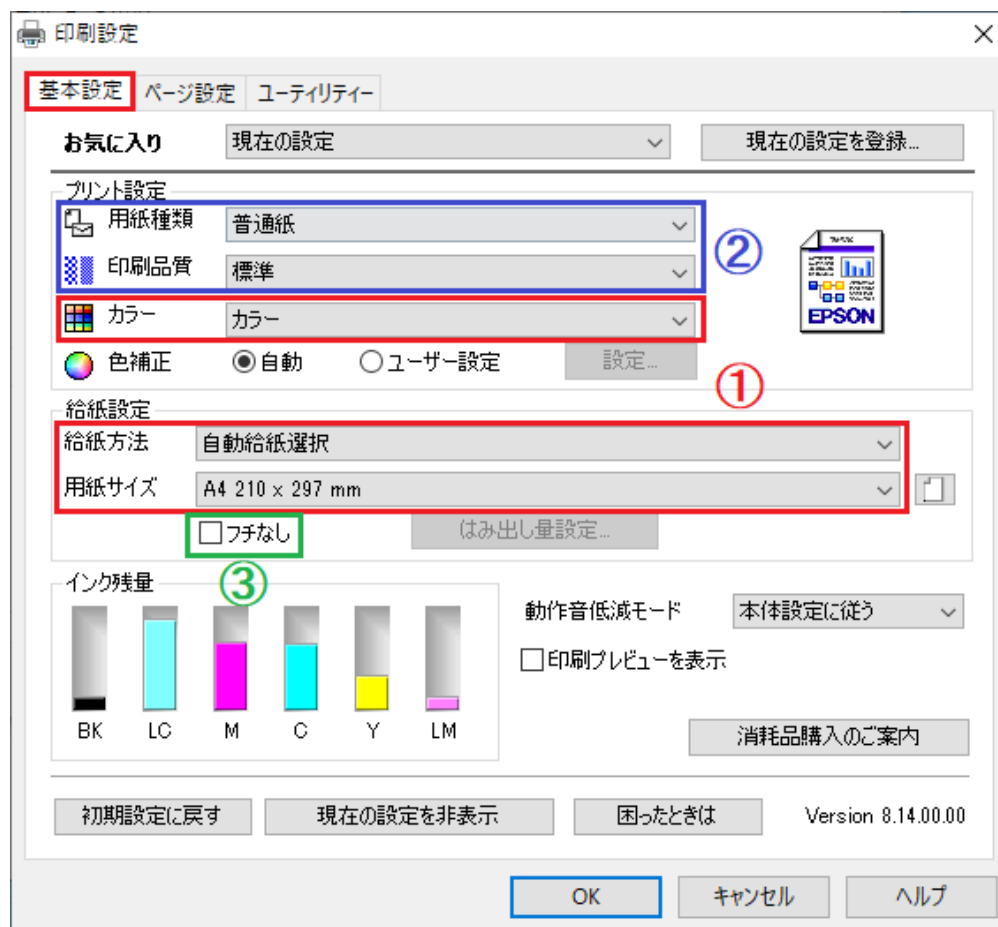
上図で「印刷」ボタンをクリックすると、下図のように「印刷ダイアログ」の画面が表示されます。ここで下図赤枠部①の部分をご覧頂くと分かりますが、本ソフトの印刷設定で設定したプリンターが選択されていることが分かります。ここで下図赤枠部②の「詳細設定」ボタンをクリックします。



すると、下図のように Windows の印刷設定が表示されます(※本例で扱っている EPSON のプリンタの例となります)。ここで下図の印刷設定の「基本設定」タブ及び「ページ設定」タブの**赤枠部①**の部分をご覧ください。この部分は、本ソフトの印刷設定で設定した内容が反映されていることが分かります。



前ページの続きとなりますが、次に、下図の Windows の印刷設定の「基本設定」タブの青枠部②の部分をご覧ください。この「用紙種類」、「印刷品質」の項目の部分については、お手数ですが、本ソフトのご利用の都度、必要に応じて設定をお願い致します。

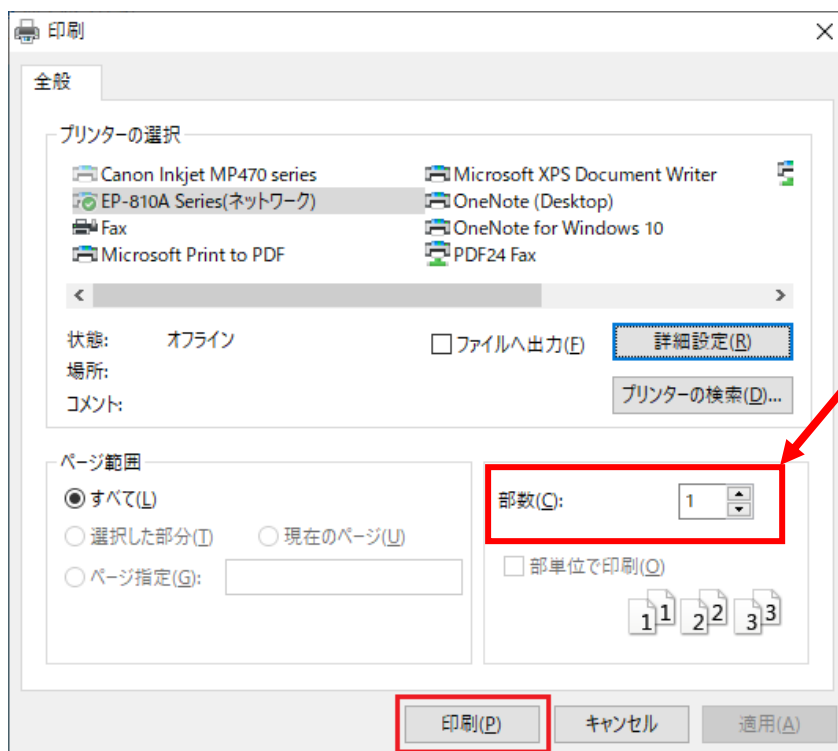


続いて、上図の Windows の印刷設定の「基本設定」タブの緑枠部③の部分に「フチなし」の項目がありますが、こちらはチェックしないでください(上図は EPSON の例ですが、他のプリンターメーカーでも同様となります)。チェックして印刷すると原寸印刷されなくなるためです。

きましたら下図のように「OK」ボタンをクリックします。

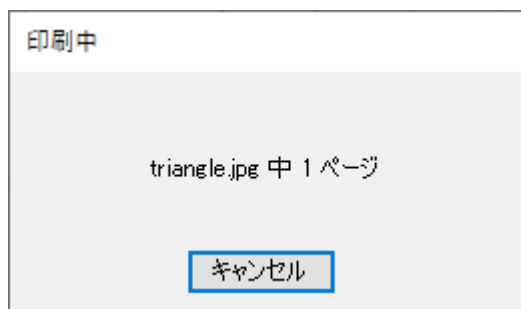


すると、下図のように「印刷ダイアログ」の画面に戻ります。ここで「印刷」ボタンをクリックします



※部数を変更する場合は
この部分の数字を変更
した上で「印刷」ボタンを
クリックしてください。

すると、下図のようなメッセージが表示されると共に、指定されたプリンターに出力が開始されます。



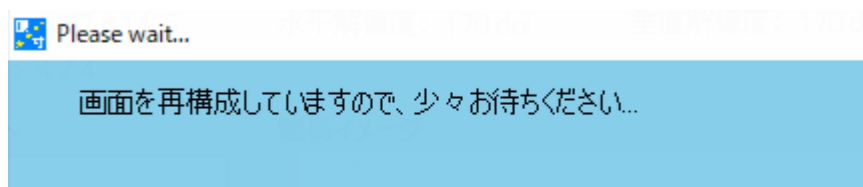
※印刷を中止する場合は、上図の「キャンセル」ボタンをクリックします。ケースによってはキャンセルが間に合わない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

プリンターへの出力が完了すると下図のようなメッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。



※上図のメッセージですが、印刷をキャンセルした場合でも表示されますが、本ソフトの仕様となりますので、あらかじめご了承ください。

上図の画面で「OK」ボタンをクリックすると、下図のようなメッセージが一瞬表示されます。



これは、印刷時に出力先として指定したプリンターと、Windows の印刷設定に設定されていた内容を本ソフトの印刷設定にも同期する形で再設定する仕様になっているためです(※基本的に本ソフトの印刷設定の全ての項目が再設定の対象となりますが、プリンターにより再設定される項目は一部の項目となることがあります)。

4-10. プリンターに原寸で印刷されたことを確認する

手順 4-9.でプリンターへの出力が完了した旨のメッセージが表示されたら、指定したプリンターに原寸で印刷されていることをご確認ください。

ここまで、本ソフトの基本となる操作についてお伝えしました。

5. 本ソフトの応用操作についてーその 1 (画像を連続で原寸印刷する)

本資料の操作手順 4-1.~4-10.では、フォルダに保存されている画像 1 枚を原寸で印刷する方法についてご説明しましたが、本ソフトには、フォルダに格納された画像ファイルを連続して原寸印刷する機能もあり、ここでは、この連続印刷の方法についてご説明します。

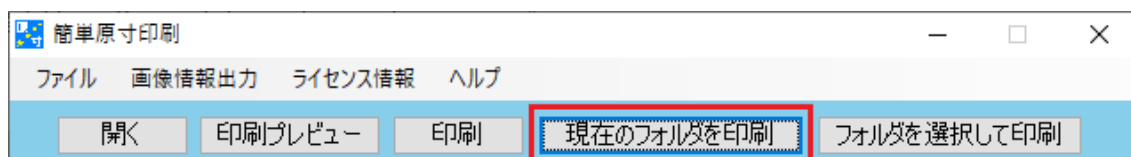
【重要：連続印刷を行うための前提条件】

具体的なご説明に入る前に、本ソフトの仕様についてご説明します。本ソフトで連続印刷する場合、フォルダ内に格納された全ての画像ファイルに対して同じ印刷設定で印刷されます。例えば、A4 の用紙サイズで横向きに印刷するのであれば、フォルダに格納された画像は、基本的に全て横長の画像で、全ての画像について A4 の用紙サイズで横向きに印刷しても問題ないことが条件となります。そのため、フォルダ内に横長の画像だけでなく、縦長の画像が混在していたり、A4 サイズに収まりきらないような画像が含まれていると、印刷自体はできても、用紙からはみ出してしまう等の問題が発生する可能性がありますので、連続印刷する場合は、フォルダ内の画像ファイルを同じ印刷設定で印刷しても問題が出ないよう、事前に画像ファイルの状態を統一して頂きますようお願い致します。

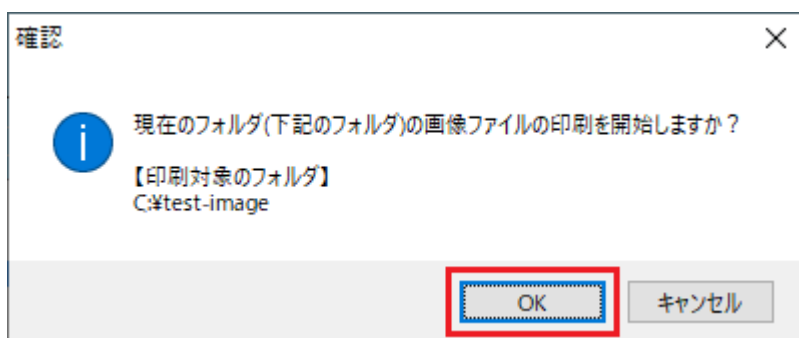
5-1. 現在開いている画像のフォルダを連続で原寸印刷する

それでは、ここから具体的なご説明に入りますが、先ほどの操作手順 4-1.~4-10.では、事前に A4 用紙に描かれた図形(計 4 枚)をスキャナーで「解像度 170dpi」でスキャンして、C ドライブの中の「test-image」というフォルダに保存した画像ファイルの内の 1 つを原寸印刷しましたが、ここでは、このフォルダ内の 4 枚全ての画像を連続して原寸印刷してみます。

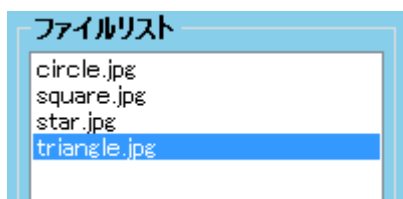
まず、下図のように、本ソフトの画面上部にある「現在のフォルダを印刷」というボタンをクリックします。



すると、下図のように、連続印刷するかどうかの確認メッセージの画面が表示されますので、よろしければ「OK」ボタンをクリックします。



※補足になりますが、上図の画面で印刷対象として「C:\test-image」というフォルダが表示されていますが、印刷対象となるファイルは、このフォルダの直下にあるファイルとなります。本例では、下図のファイルリストに表示されているファイルが対象となります。

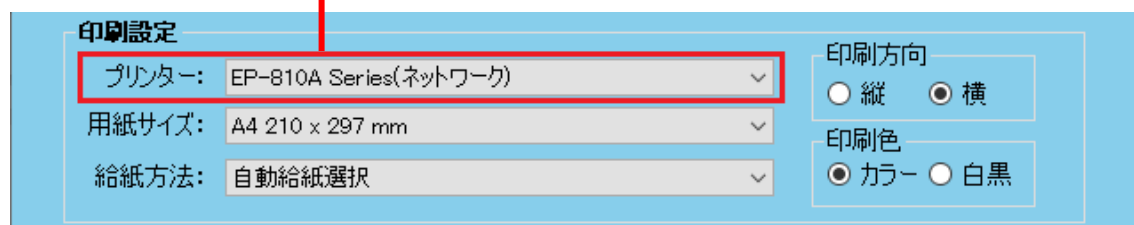
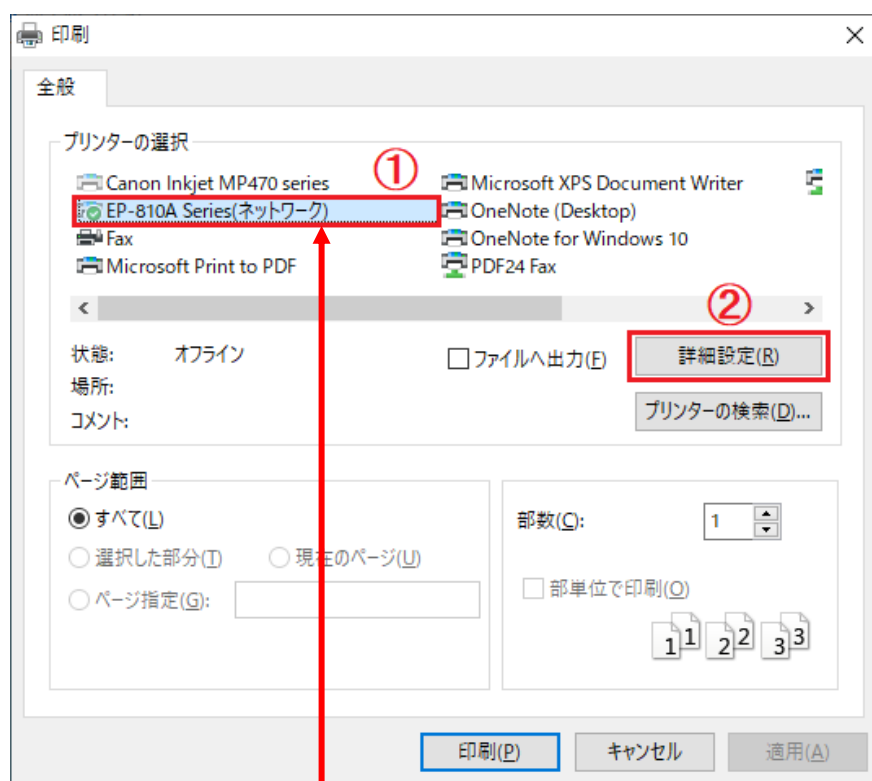


ここで注意点となりますが、もしフォルダ内にさらに別のフォルダがある場合、そのフォルダ(サブフォルダ)内の画像ファイルは連続印刷の対象とはなりませんのでご注意ください。サブフォルダ内の画像も連続印刷が必要な場合は、別途、そのフォルダの画像を本ソフトで開いて、上記と同様の操作を行って頂くか、後述の「5-2. 別の画像フォルダを選択して連続で原寸印刷する」の方法で印刷を実施してください。

ここまで補足と注意点についてお伝えしました。

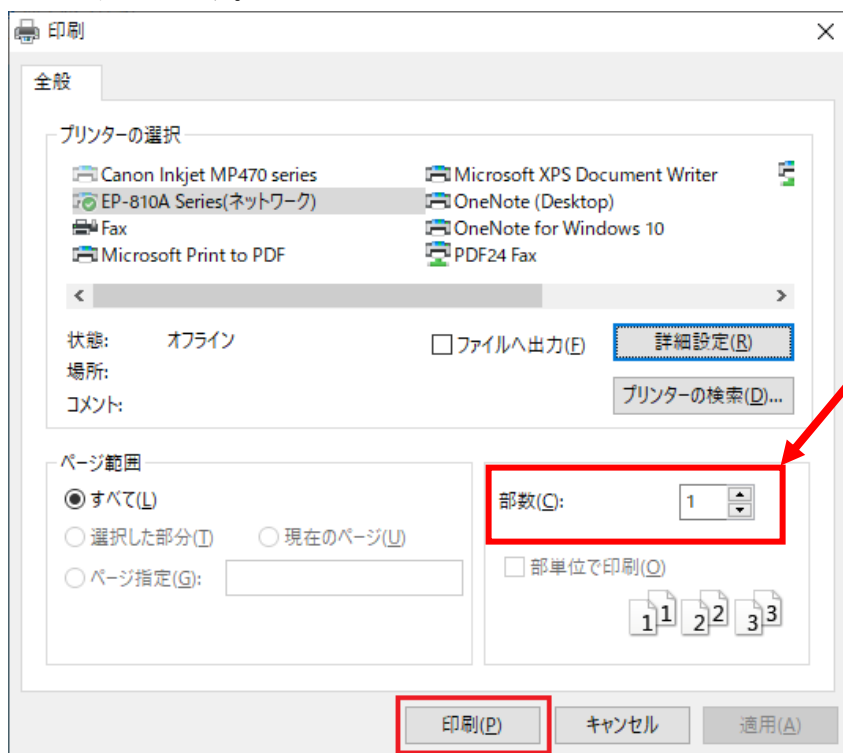
先ほどの確認メッセージの画面で「OK」ボタンをクリックすると、下図のように「印刷ダイアログ」の画面が表示されます。ここで下図赤枠部①の部分をご覧頂くと分かりますが、本ソフトの印刷設定で設定したプリンターが選択されていることが分かります。ここで下図赤枠部②の「詳細設定」ボタンをクリックします。

※ここから先の操作は前述の「4-9. 印刷する」の部分でご説明している内容と同じになりますので、手順 4-9.と同様に印刷設定の内容をご確認頂き、必要に応じて設定をお願い致します。



次のページに続きます...

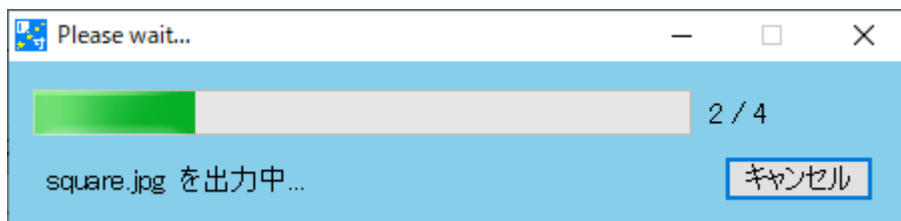
印刷設定の確認と設定が終わり、「印刷ダイアログ」の画面に戻りましたら、「印刷」ボタンをクリックします。



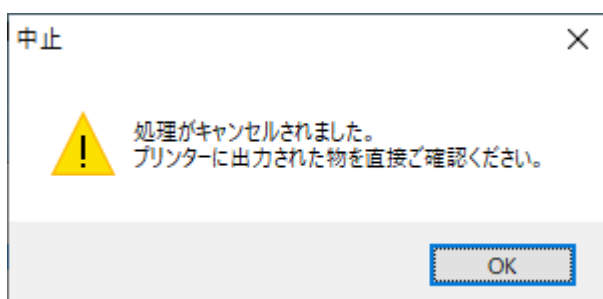
※部数を変更する場合は
この部分の数字を変更
した上で「印刷」ボタンを
クリックしてください。

次のページに続きます...

すると、下図のように進捗状況を表すウィンドウ(プログレスバー)が表示されます。この画面内には、「キャンセル」ボタンもありますので、もし途中でキャンセルしたい場合は、このボタンをクリックしてください。



ちなみに、「キャンセル」ボタンをクリックした場合、下図のようなメッセージが表示されますので、途中まで印刷された可能性のある印刷物について、プリンターの出力トレイをご確認ください。また、プリンターのキューに登録され、まだ印刷されていないファイルの印刷を中止する方法については、下記の【補足その2】をご覧ください。



ここで、上図のプログレスバーの画面について、2点ほど補足させていただきます。

【補足その1】

プログレスバーのウィンドウの「×」ボタンですが、本ソフトの仕様により無効になっておりますので、あらかじめご了承ください。

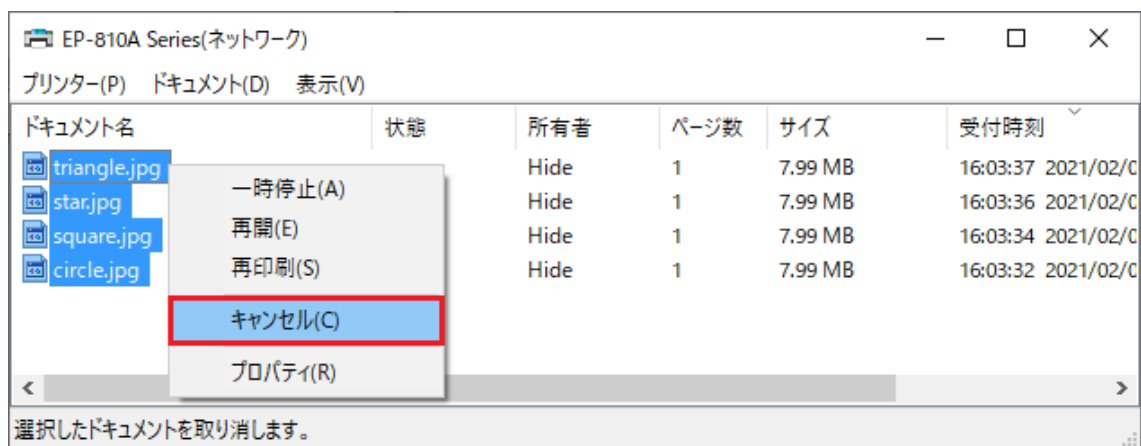
【補足その2】

このプログレスバーのウィンドウの「キャンセル」ボタンについてですが、処理が進んでしまっている場合は、キャンセルが間に合わない場合もありますので、あらかじめご了承ください。また、既にプリンターのキューに登録されてしまった印刷ジョブは削除されませんので、こちらのジョブも削除されたい場合は、プリンター側にジョブの削除機能があれば、この機能で削除して頂くか、または、可能であればプリンターの電源をオフにした上で、下記の手順で印刷ジョブを削除してください。

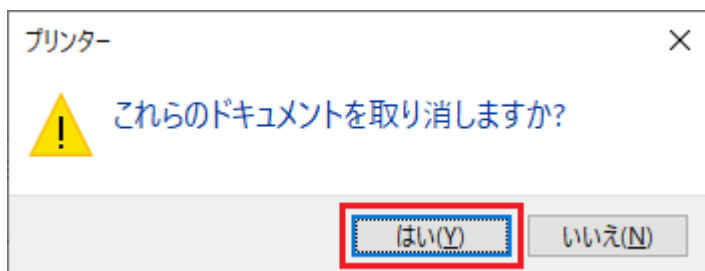
まず、Windows の「コントロールパネル」から「デバイスとプリンター」を開いて頂き、「プリンター」の項目において、下図のように出力したプリンターを右クリックして頂くとメニューが表示されますので「印刷ジョブの表示」をクリックします。



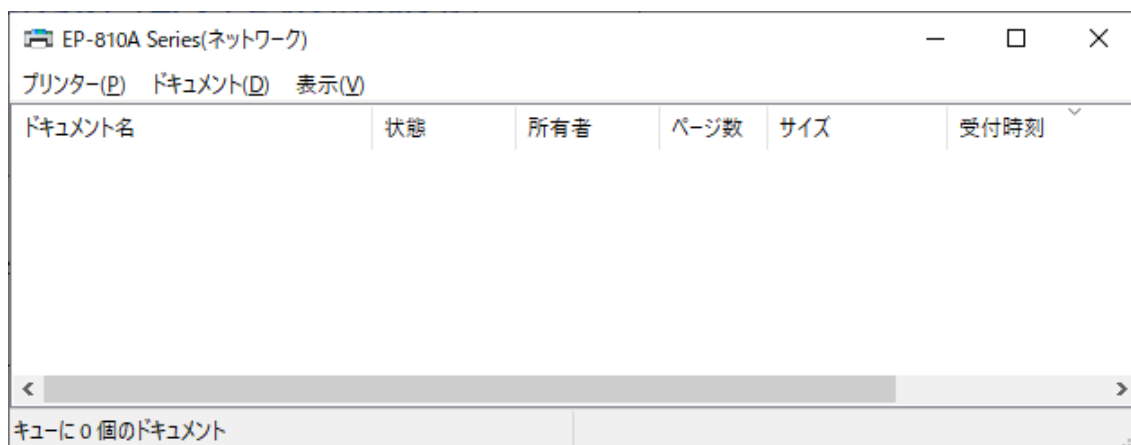
すると、まだ印刷されていないファイルが残っていた場合、下図のようにプリンターに出力された印刷ジョブが表示されますので、削除したいファイルを選択した状態で、ファイルの部分をクリックして頂き、表示されたメニューから「キャンセル」をクリックするか、または、キーボードの「Delete」ボタンをクリックします。



すると、下図のような確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックします。

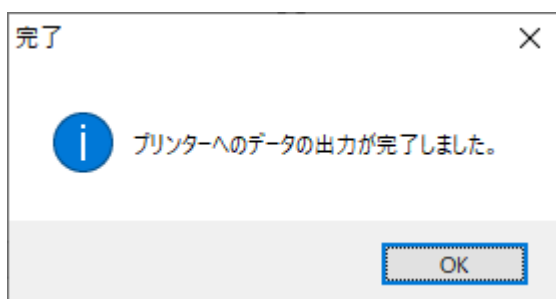


印刷ジョブが正常に削除されると下図のようになります。



ここまで、印刷ジョブの削除の方法についてお伝えしました。

「現在のフォルダを印刷」 ボタンでプリンターへのデータの出力が完了すると、下図のようなメッセージが表示されますので **「OK」** ボタンをクリックします。また、指定したプリンターに現在のフォルダ内の画像が原寸で印刷されていることをご確認ください。

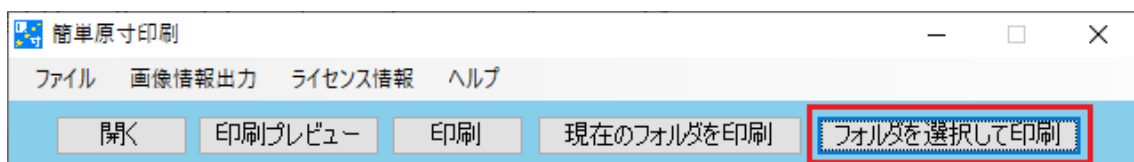


上図で **「OK」** ボタンをクリックして頂いた後の本ソフトの動作は、**「印刷」** ボタンで印刷した時の動作と同じになります。

現在開いている画像のフォルダを連続で原寸印刷する方法についてのご説明は以上となります。

5-2. 別の画像フォルダを選択して連続で原寸印刷する

前述の手順 5-1.では、現在開いている画像のフォルダを連続で原寸印刷する方法についてご説明しましたが、現在開いている画像のフォルダとは別のフォルダに格納された画像を連続で原寸印刷することも可能です。この場合、下図のように、本ソフトの画面上部にある **「フォルダを選択して印刷」** というボタンをクリックします。

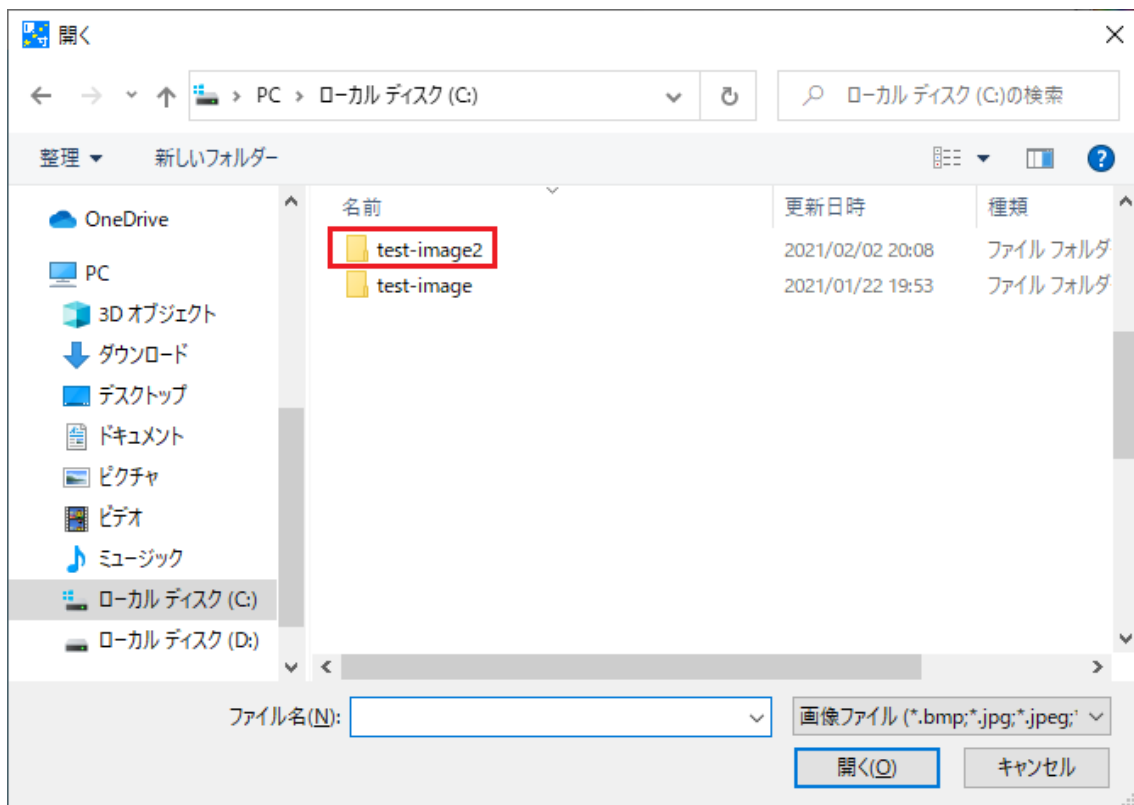


【補足】

ここで「**フォルダを選択して印刷**」というボタンの補足になりますが、現在表示している画像とは別のフォルダを連続して印刷したい場合や、本ソフトを起動後に、特に画像は開かずに、すぐに連続印刷を開始したい場合などにご活用頂けます。

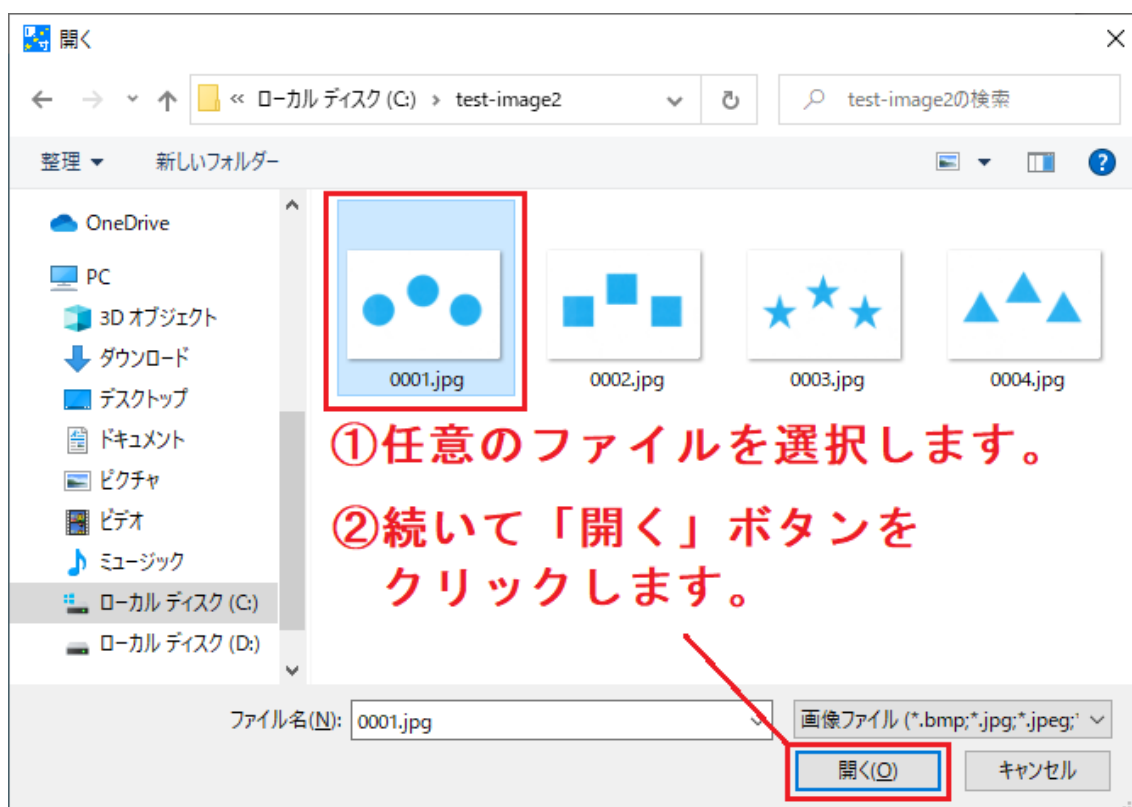
補足については以上となります。

「**フォルダを選択して印刷**」というボタンすると、下図のように「**ファイル選択ダイアログ**」が表示されます。ここで、C ドライブの中の「**test-image2**」というフォルダ内に格納された画像を連続で原寸印刷するとします。

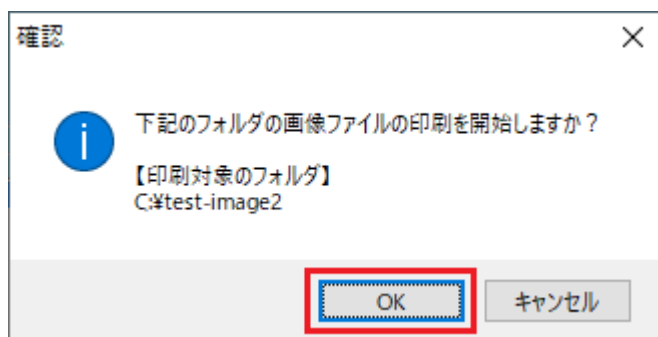


※本ソフトでは、連続で原寸印刷したいフォルダをそのものを指定するのではなく、そのフォルダ内の任意の画像ファイルをご指定頂くこととなります(本ソフトの仕様となります)。そこで、まず初めに、上図において C ドライブの中にある「**test-image2**」フォルダをダブルクリックして開きます。

すると、本例では下図のようにフォルダ内の画像が表示されました。ここで、下図のようにフォルダ内の任意の画像を1つクリックして選択頂き、続いて「開く」ボタンをクリックします。



すると、下図のように、指定したフォルダの画像ファイルを連続印刷するかどうかの確認メッセージの画面が表示されますので、よろしければ「OK」ボタンをクリックします。



※印刷対象となるファイルは、本ソフトが連続処理を実行する時点で対象フォルダに存在するファイルとなります。印刷処理を実行中にそのフォルダに追加されたファイルは印刷対象となりませんのでご注意ください。

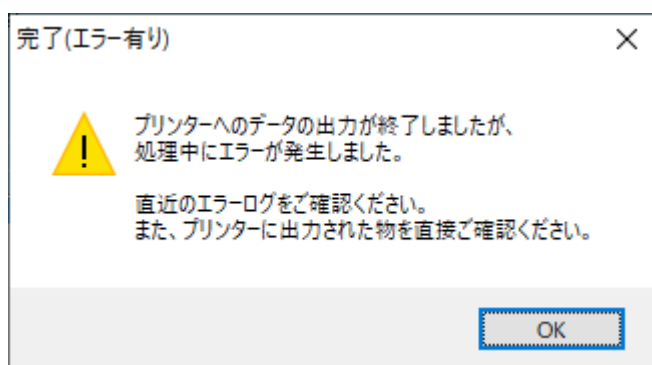
※ここから先の操作ですが、前述の手順 5-1.と同じになりますので、手順 5-1.をご参考にして頂ければ幸いです。

5-3. 連続印刷中にエラーが発生した場合の本ソフトの動きについて

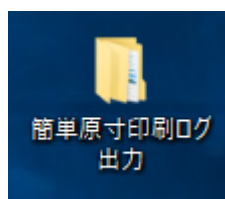
前述の手順 5-1.及び手順 5-2.では、現在開いている画像のフォルダ、及び、別のフォルダに格納された画像を連続で原寸印刷する方法についてご説明しましたが、この連続印刷中にファイルが壊れていた等の理由で印刷できないファイルやエラーが発生したファイルがあった場合、本ソフトでは、印刷終了時にエラーがあった旨を表示するとともに、エラーログとして CSV ファイルの形でデスクトップのフォルダに出力します(※)。

上記の(※)について、連続印刷中に印刷を途中でキャンセルした場合でも、その印刷途中に印刷できないファイルやエラーが発生したファイルがあった場合には、同様にエラーメッセージを表示します。またエラーログも同様に出力します。

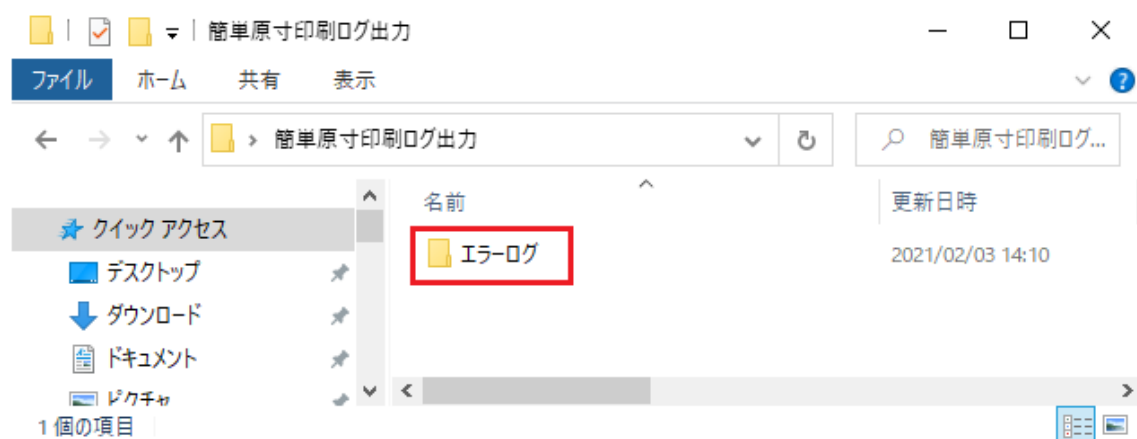
例えば、C ドライブの中の「test-image3」というフォルダに「0001.jpg」～「0005.jpg」という 5 つのファイルがあり、この内、「0005.jpg」というファイルが破損していて正常に開けないファイルであったとします。この状態で、前述の手順 5-1.または 5-2.の操作で連続印刷を実行すると、連続印刷の終了時に、下図のようなメッセージが表示されます。



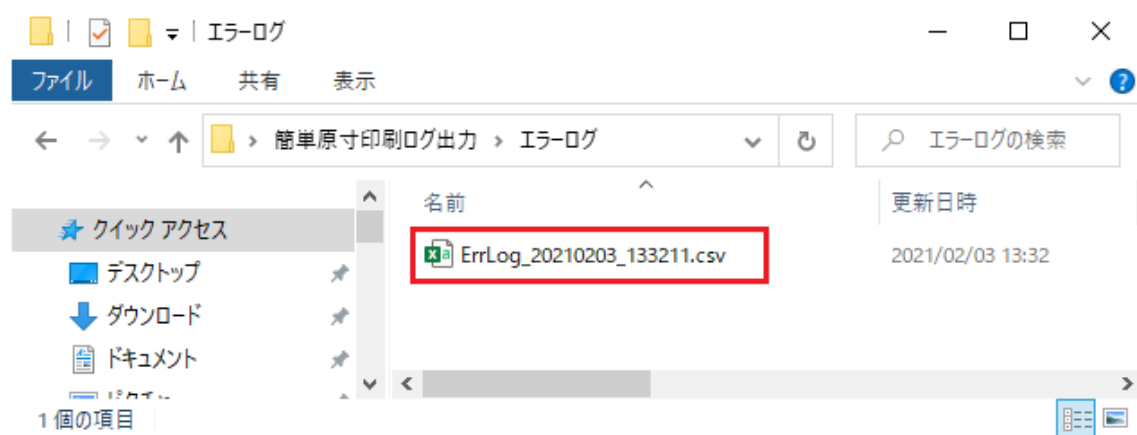
また、デスクトップには、下図のように「**簡単原寸印刷ログ出力**」という名前のフォルダが作成されますので、こちらのフォルダを開きます。



すると、下図のように「エラーログ」というフォルダが表示されますので、こちらのフォルダを開きます。



すると、下図のようなエラーログファイルが表示されます。



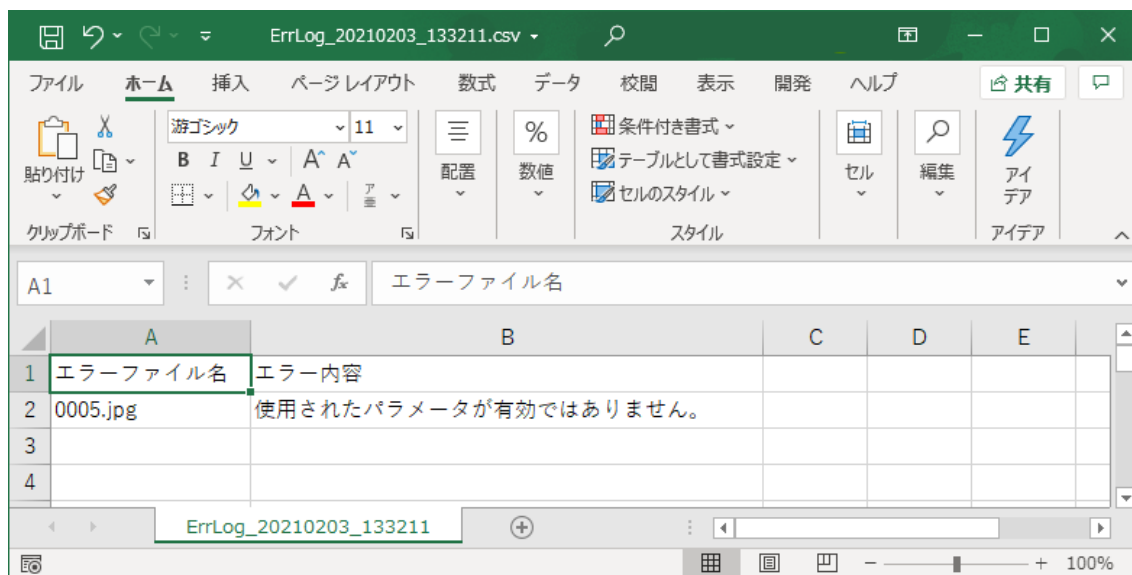
上記のファイル名ですが、下記のような構成になっています。

エラーログファイル名の形式： **ErrLog_yyyymmdd_hhmmss.csv**

上記のファイル名ですが、**ファイル作成時の年月日と時分秒を連結したもの**になっています。また、以後、連続印刷中にエラーが発生した場合、この「エラーログ」フォルダにエラーログファイルが作成されますので、**直近のファイルをご確認頂きますようお願い致します。**

ではここで、このファイルをダブルクリックして開いてみます。環境により起動するアプリケーションが異なりますが、本資料では、Excel が起動した場合の例でご説明します。

すると、下図のように Excel が起動し、「エラーファイル名」と「エラー内容」が出力されていることが分かります(※列幅は自動で整列されませんので、お手数ですが手動で調整をお願い致します)。



※上図の「エラー内容」ですが、システムから返される内容となりますので、あくまで参考情報とお考えください。エラーとなったファイルについては、お手数ですがご利用者様に、該当ファイルの状態についてご確認をお願い致します。

ここまで、画像を連続で原寸印刷する方法についてご説明しました。

6. 本ソフトの応用操作についてーその2（画像情報の出力）

本ソフトの付加機能として、現在開いている画像のフォルダや別途選択したフォルダ内に保存された画像ファイルの情報を出力する機能があります。具体的には、下記の項目を CSV ファイルの形で出力できます。

「ファイル名」、「幅(pixel)」、「高さ(pixel)」、「水平解像度(dpi)」、「垂直解像度(dpi)」、「エラー発生有無」、「エラー内容」

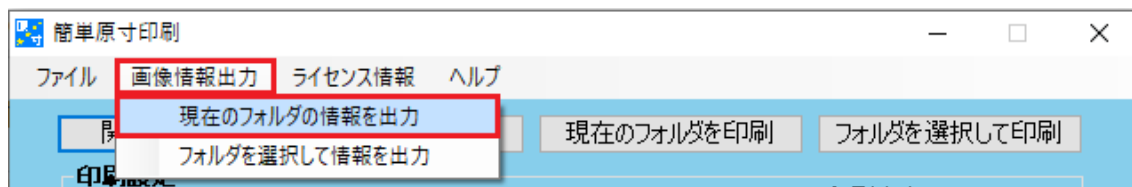
上記の画像ファイルの情報は Windows のエクスプローラーのフォルダの設定を変更するこ

とで表示させることも可能ですが、本機能は、このような画像情報をファイルの形でデータとして管理したい場合や、連続印刷を行う前に、開けないファイルやエラーとなるファイルがないかなどをチェックする機能としてもご利用頂けます。

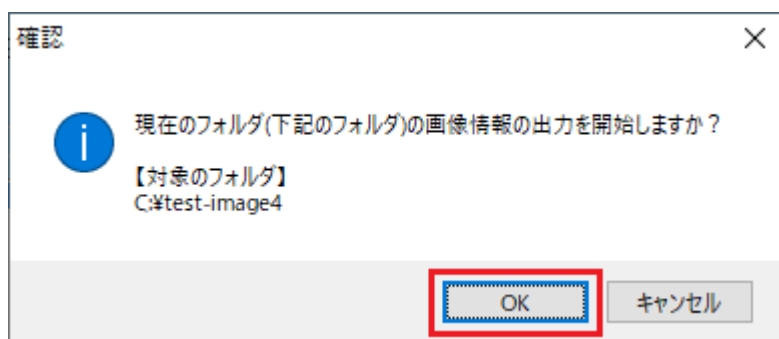
6-1. 現在開いている画像のフォルダに格納されたファイルの画像情報を出力する

それでは、ここから具体的なお説明に入りますが、例として、C ドライブの中の「test-image4」というフォルダに「0001.jpg」～「0050.jpg」という 50 個の画像ファイルがあり、この内、「0005.jpg」というファイルが破損していて正常に開けないファイルであったとします。このフォルダ内に保存されている任意の画像を本ソフトで開いている状態で、このフォルダに格納されているファイルの画像情報を出力してみます。

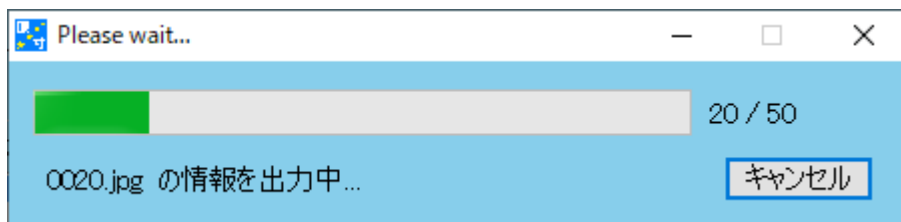
まず、下図のように画面左上の「**画像情報出力**」メニューから「**現在のフォルダの情報を出力**」というメニューをクリックします。



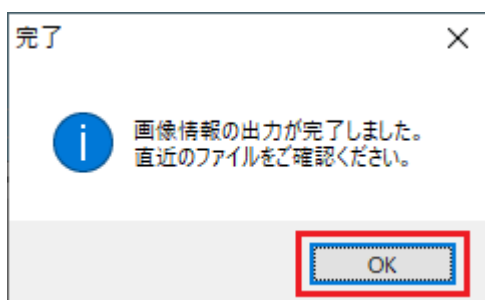
すると、下図のような確認画面が表示されますので、よろしければ「**OK**」ボタンをクリックします。



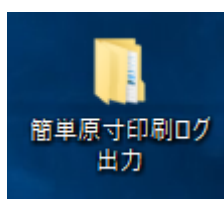
すると、下図のように進捗状況を表すウィンドウ(プログレスバー)が表示されます。この画面内には、「**キャンセル**」ボタンもありますので、もし途中でキャンセルしたい場合は、このボタンをクリックしてください。



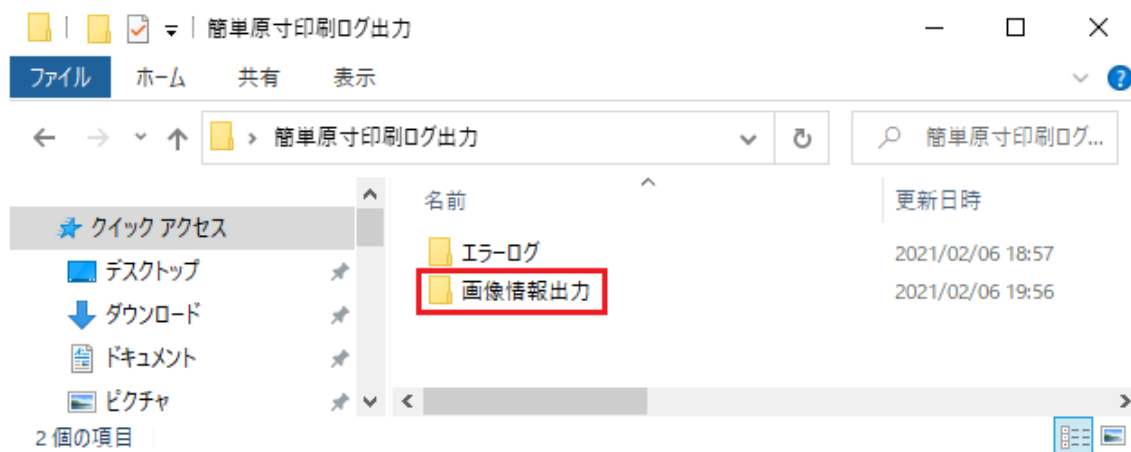
処理が完了すると、下図のような画面が表示されますので「**OK**」ボタンをクリックします。



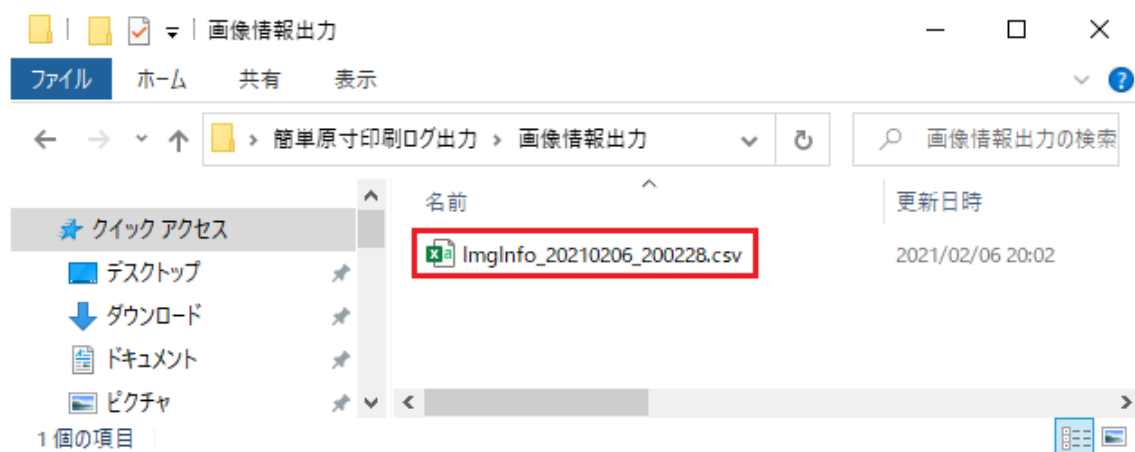
すると、デスクトップには、下図のように「**簡単原寸印刷ログ出力**」という名前のフォルダが作成されますので(フォルダが存在しない場合のみ)、こちらのフォルダを開きます。



すると、下図のように「**画像情報出力**」というフォルダが表示されますので、こちらのフォルダを開きます。



すると、下図のようなファイルが表示されます。



上記のファイル名ですが、下記のような構成になっています。

画像情報出力のファイル名の形式： **ImgInfo_yyyymmdd_hhmmss.csv**

上記のファイル名ですが、**ファイル作成時の年月日と時分秒を連結したもの**になっています。また、以後、画像情報出力の機能を実行した場合、この「画像情報出力」フォルダにファイルが作成されますので、**直近のファイルをご確認頂きますようお願い致します**。

ではここで、このファイルをダブルクリックして開いてみます。環境により起動するアプリケーションが異なりますが、本資料では、**Excel** が起動した場合の例でご説明します。

すると、下図のように **Excel** が起動し、画像に関する情報が出力されていることが分かります(**※列幅は自動で整列されませんので、お手数ですが手動で調整をお願い致します**)。

ファイル名	幅(pixel)	高さ(pixel)	水平解像度(dpi)	垂直解像度(dpi)	エラー発生有無	エラー内容
0001.jpg	1987	1405	170	170		
0002.jpg	1987	1405	170	170		
0003.jpg	1987	1405	170	170		
0004.jpg	1987	1405	170	170		
0005.jpg					エラー	使用されたパラメータが有効ではありません。
0006.jpg	1987	1405	170	170		

また、ファイルに問題がある「0005.jpg」という画像ファイルについては、「エラー発生有無」の項目が「エラー」となり、「エラー内容」には、システムから返される情報が表示されます。**※エラー内容については、あくまで参考情報とお考えください。エラーとなったファイルについては、お手数ですがご利用者様にて、該当ファイルの状態についてご確認をお願い致します。**

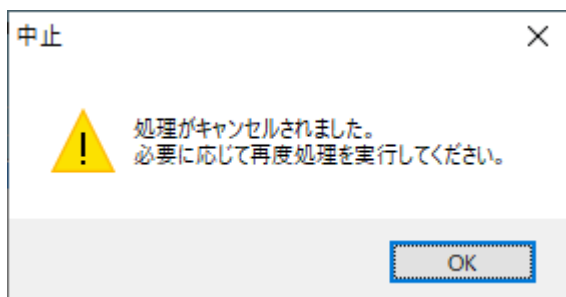
ここで画像情報出力の機能について何点か補足させていただきます。

【補足その 1】

画像情報出力の機能で出力の対象となるのは、**ファイルリスト**に表示されているファイルとなります。本ソフト起動中に対象フォルダのファイルの増減があった場合は、必要に応じて**「再読み込み」** ボタンをクリックしてファイルリストを更新してください。

【補足その 2】

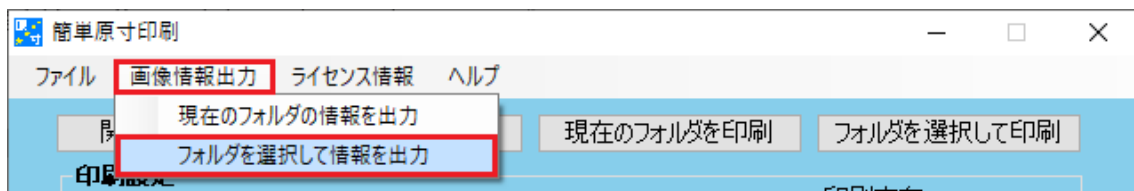
画像情報出力の機能を実行すると、プログレスバーが表示されますが、この画面で**「キャンセル」** ボタンをクリックした場合、下図のような画面が表示されます。**また、ファイルには、キャンセルされた時点までにファイルから取得された情報が出力されます(キャンセルのタイミングにより、ファイルが作成されない場合や出力情報が 0 件となる場合もあり得ます)。**



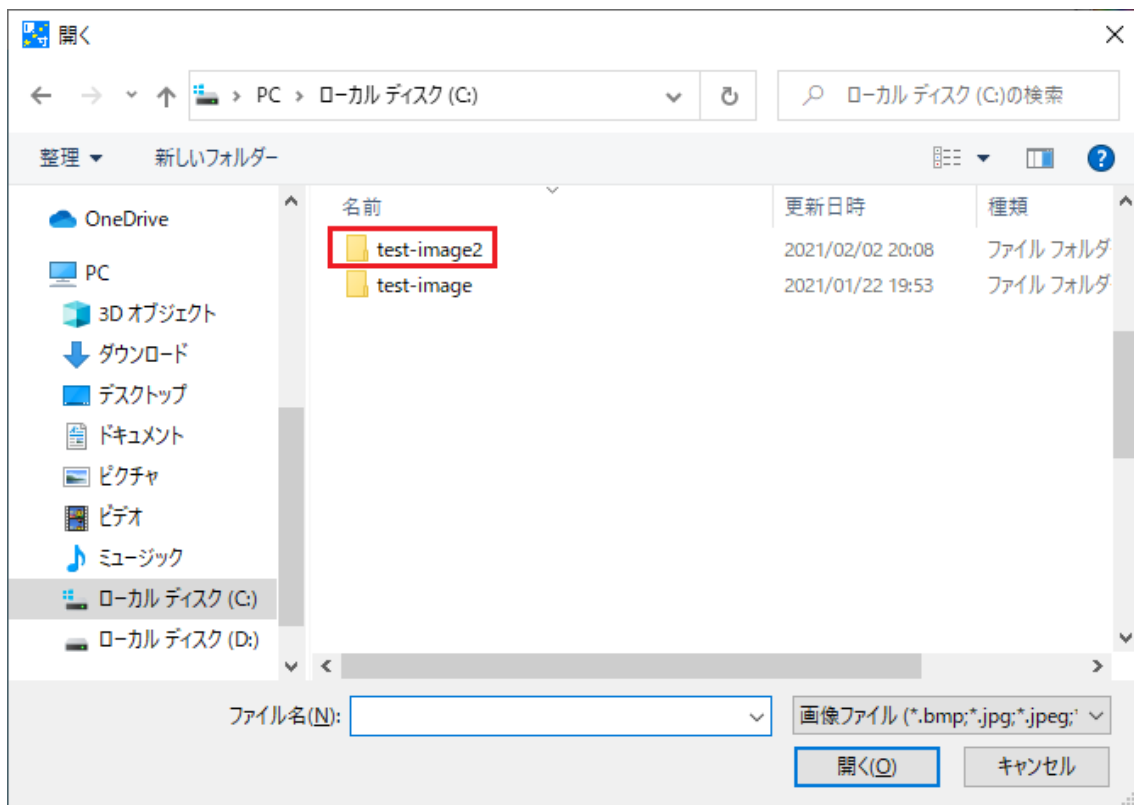
ここまで、補足についてお伝えしました。

6-2. 別の画像フォルダを選択してファイルの画像情報を出力する

前述の手順 6-1.では、現在開いている画像ファイルが格納されたフォルダに存在する各画像ファイルの情報を出力する方法についてご説明しましたが、現在開いている画像ファイルが存在するフォルダとは別のフォルダに格納されたファイルの画像情報を出力することもできます。この場合、下図のように画面左上の**「画像情報出力」**メニューから**「フォルダを選択して情報を出力」**というメニューをクリックします。

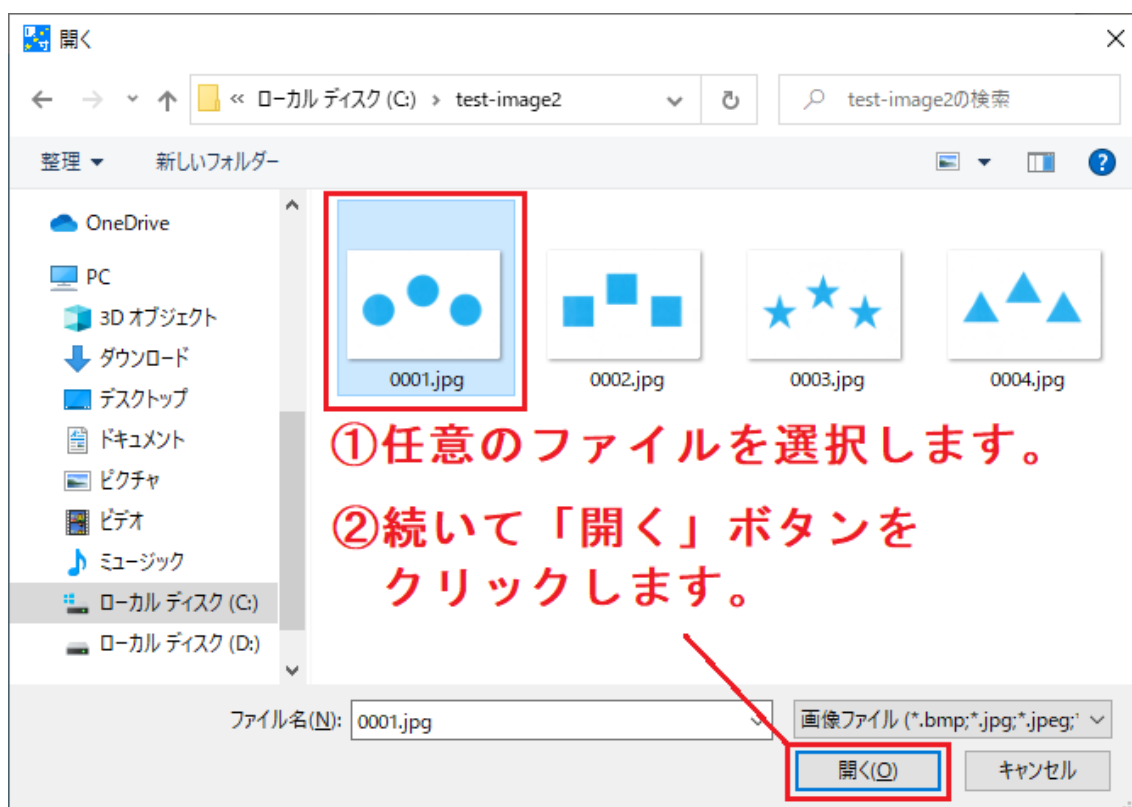


すると、下図のように「**ファイル選択ダイアログ**」が表示されます。ここで、C ドライブの中の「test-image2」というフォルダ内に格納された画像の情報を出力するとします。

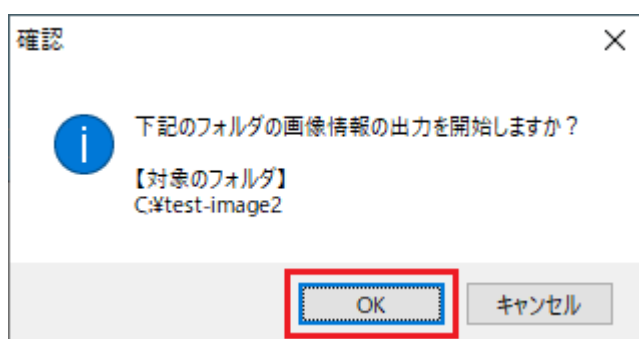


※本ソフトでは、画像の情報を出力したいフォルダをそのものを指定するのではなく、そのフォルダ内の任意の画像ファイルをご指定頂くことになります(本ソフトの仕様となります)。そこで、まず初めに、上図において C ドライブの中にある「test-image2」フォルダをダブルクリックして開きます。

すると、本例では下図のようにフォルダ内の画像が表示されました。ここで、下図のようにフォルダ内の任意の画像を1つクリックして選択頂き、続いて「開く」ボタンをクリックします。



すると、下図のように、指定したフォルダの画像ファイルの情報を出力するかどうかの確認メッセージの画面が表示されますので、よろしければ「OK」ボタンをクリックします。



※ここから先の操作は前述の「6-1. 現在開いている画像のフォルダに格納されたファイルの画像情報を出力する」の手順と同じになりますので、手順 6-1.をご参考にして頂ければ幸いです。

7. 定形外用の紙サイズのご利用方法について

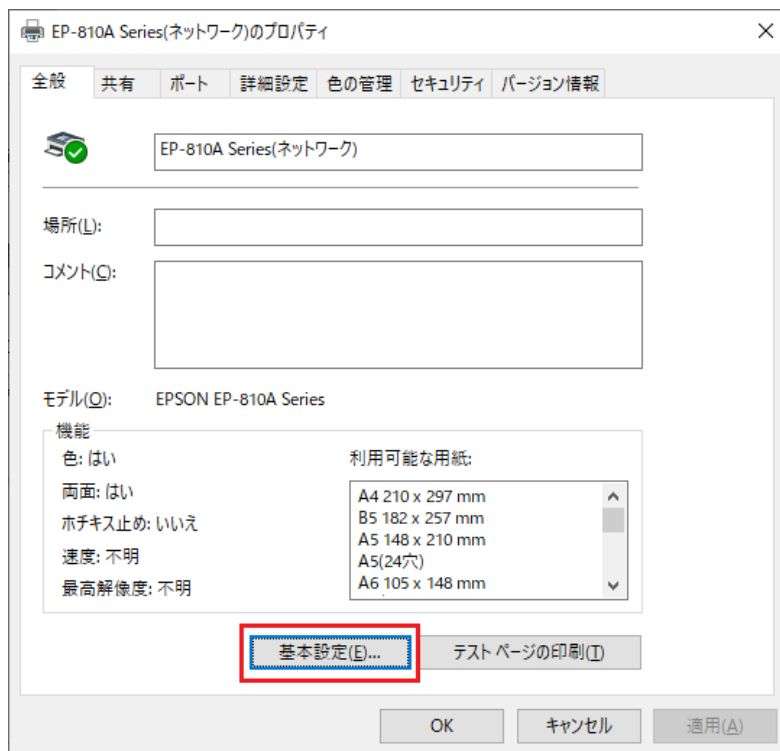
本資料の「手順 4-6. 本ソフトの印刷設定を行う」の部分でも少し触れましたが、本ソフトで定形外用の紙サイズをご利用になる場合は、必ず**ご利用のプリンタの「プリンタのプロパティ」**もしくは**Windows の「コントロールパネル」→「デバイスとプリンター」→「プリントサーバー プロパティ」**から、お手数ですが、ご利用者様にて**新規に用紙サイズ名(用紙名)**を作成する形で用紙を作成して頂き、こちらの用紙をプルダウンメニューから選択してご利用頂くようお願い致します(※デフォルトで存在する「ユーザー定義サイズ」のような用紙を本ソフトで選択すると、用紙サイズが正しく認識されないためです)。

上記について、具体的なご説明になりますが、例えば、本例で利用しているプリンタ「EP-810A Series(ネットワーク)」の場合ですが、まず初めに**Windows のスタートメニューから「Windows システム ツール」→「コントロールパネル」**の順にクリックし、続いて、コントロールパネルの**「デバイスとプリンター」**をクリックします。

すると、下図のように**「デバイスとプリンター」**の画面になりますので、画面内のご利用のプリンター(本例の場合「EP-810A Series(ネットワーク)」)の部分をクリックして頂き、表示されたメニューから**「プリンタのプロパティ」**をクリックします。



続いて、下図の画面が表示されますので「**基本設定**」というボタンをクリックします。



すると、下図のような画面が表示されますので、用紙サイズの右側の部分をクリックして頂き、プルダウンメニューから「**ユーザー定義サイズ**」(本例の場合)をクリックします。



すると、下図のような画面が表示されますので、例えば、下図の①～③のような流れで、新規に用紙サイズ名、用紙サイズ等を設定し、最後に「保存」ボタンをクリックします。

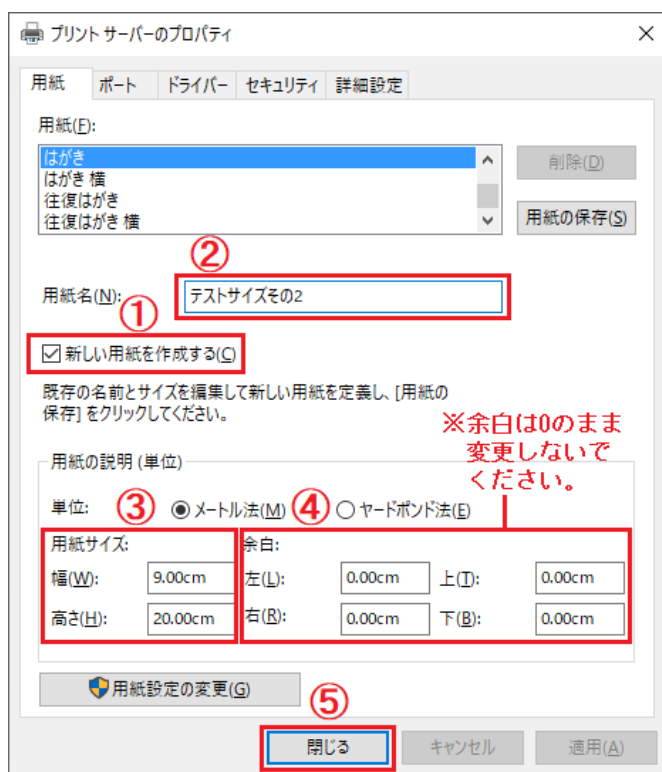
すると、下図のようにご利用者様にて作成された新しい用紙サイズの名前が表示されますので「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

本ソフトに戻り、プリンターのプルダウンメニューからプリンターを選択し直すと、下図のように用紙の部分に表示される候補も更新され、先ほど作成した定形外の用紙サイズが表示されます。定形外の用紙サイズをご利用される場合は、このような流れでお願い致します。

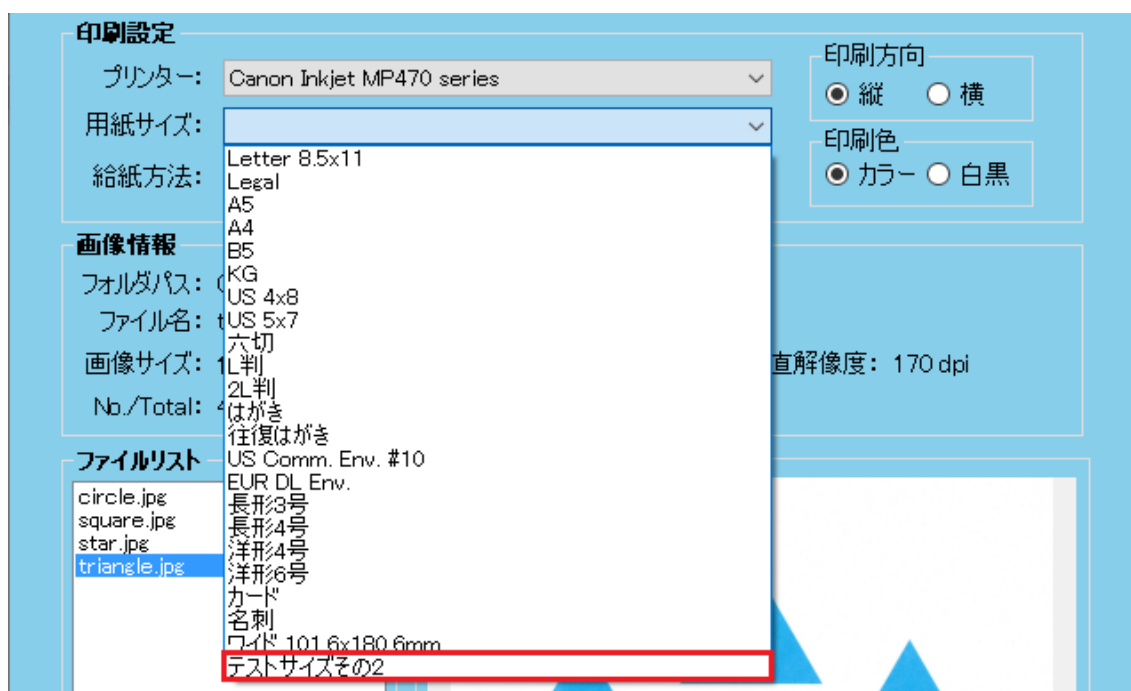
ここで補足となりますが、CANON 製のプリンター等、一部のプリンターでは、プリンターのプロパティに定形外の用紙サイズを作成する機能が無いことがあります。この場合は、下記の方法で作成できます。まず、下図のように先ほどの「デバイスとプリンター」の画面で下図①のように設定するプリンターを選択した上で下図②の「プリントサーバー プロパティ」という部分をクリックします。



すると、下図のような画面が表示されますので下図の①のように「新しい用紙を作成する (C)」にチェックした後、②の「用紙名 (N):」の部分に任意の用紙名を入力します。続いて、③の「用紙サイズ:」にご希望のサイズを入力します。また、④の余白について、本ソフトは対応していないため、変更せずに全て 0 のままにしておきます(余白を設定すると原寸で印刷されなくなるためです)。設定が終わりましたら⑤の「閉じる」ボタンをクリックします。



本ソフトに戻り、プリンターとして **CANON** 製のプリンターを選択し、用紙サイズのプルダウンメニューをクリックすると、前述の手順で作成した定形外用の紙サイズが表示されます。

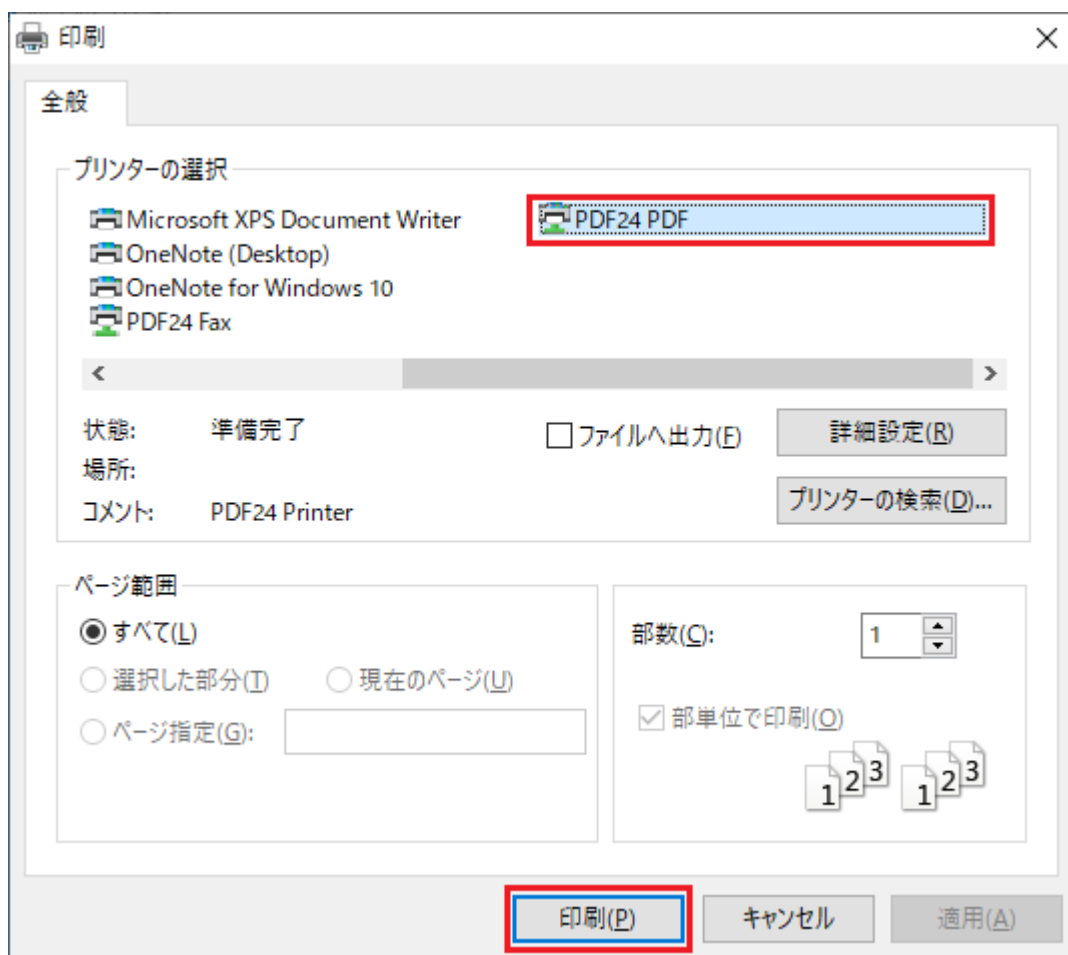
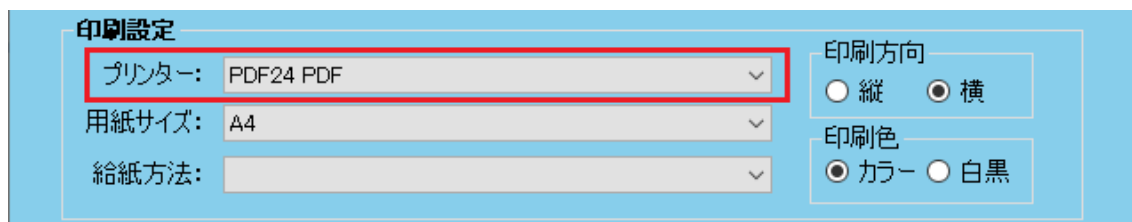


定形外用の紙サイズのご利用方法についてのご説明は以上となります。

8. プリンター以外への出力について

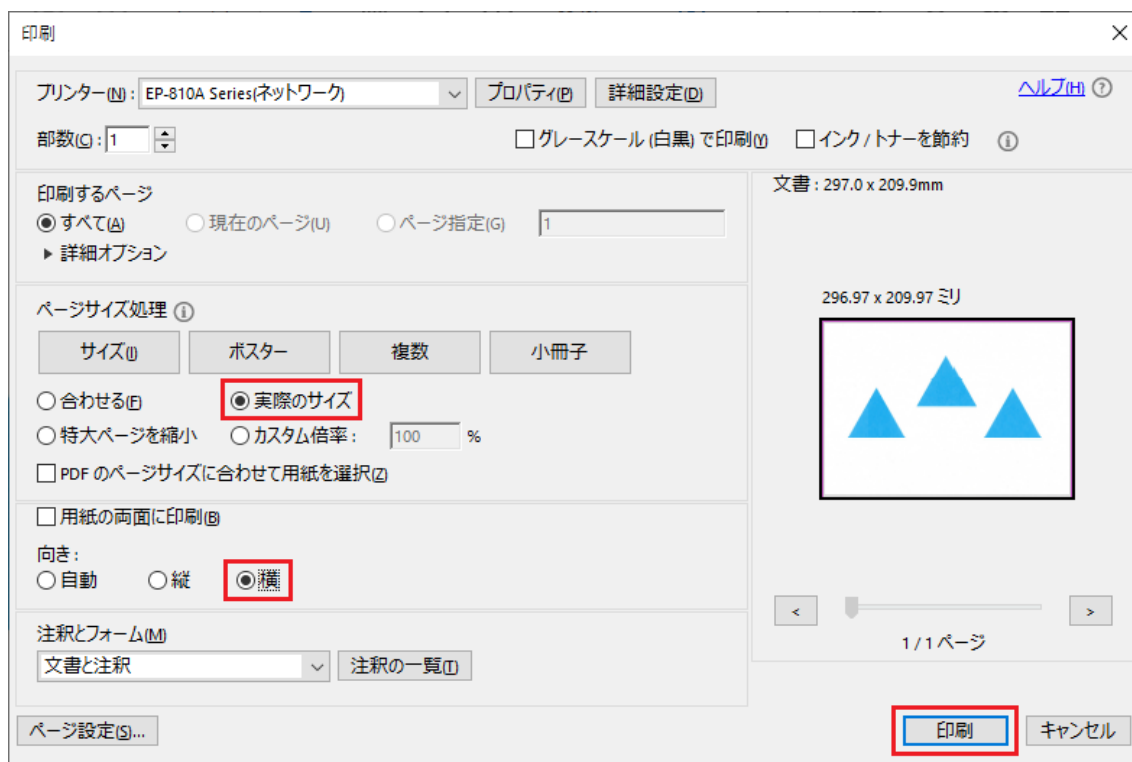
別紙の「ご利用の前に必ずお読みください」の資料でも一度お伝えしましたが、本ソフトはスキャンした画像を実際のプリンターに原寸で印刷するソフトのため、プリンターではない FAX、その他のアプリをプリンターに指定した場合、原寸での印刷や本ソフトの正常動作については保証対象外となります。但し、こちらでテストした結果の一例となりますが、例えば、本ソフトのプリンターに他社製ソフトの「PDF24 PDF」指定し、画像ファイルを PDF ファイルに変換する形で出力し、Adobe 社の Acrobat Reader でこの PDF ファイルを開き、印刷画面で「実際のサイズ」を選択し、印刷の向きを画像の縦横の長い方の向きに合わせて印刷すると原寸で印刷されましたので、ご参考にして頂ければ幸いです。左記の事例も含め、**プリンター以外への出力についての、本ソフトのご利用に当たりましては、ご利用者様にて動作や結果をご確認の上、ご利用者様の責任の元でお願い致します。**

ここで補足になりますが、下記の 2 つの図は、前述のテストの際、本ソフトでプリンターに他社製の PDF アプリを設定して印刷を実行した際の図になります。



次のページに続きます...

※また、下図は、前述のテストで PDF アプリから出力された PDF ファイルを Acrobat Reader で開き、印刷画面を表示した際の例となります。下図の印刷画面において「**実際のサイズ**」を選択し、印刷しようとしている画像が横長のため、印刷の向きを「**横**」に設定しています。

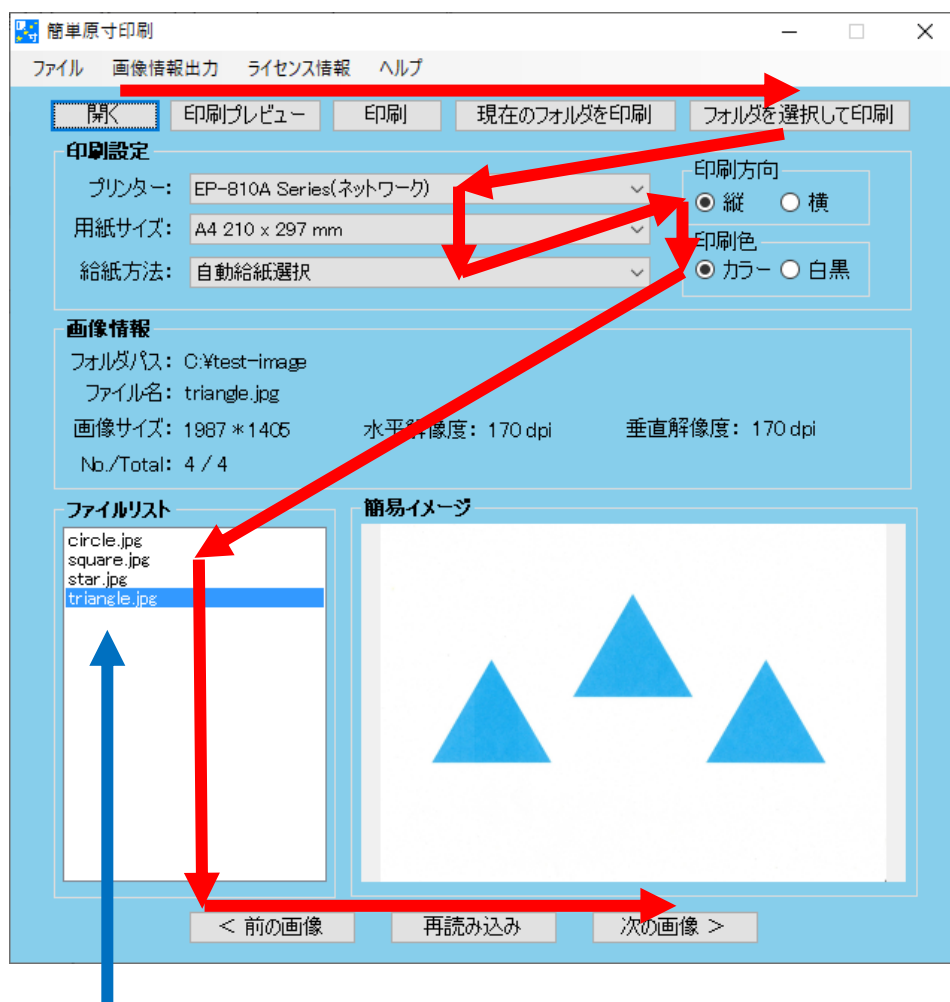


※ちなみに Windows 10 等に標準で搭載されている「Microsoft Print to PDF」を本ソフトのプリンターに指定して PDF 出力し、Acrobat Reader で上図と同じ設定にして印刷した場合でも原寸で印刷されることを確認致しましたが、この点についてもお利用に当たっては、ご利用者様にて動作や結果をご確認の上、ご利用者様の責任の元でお願い致します。また、注意点として「Microsoft Print to PDF」をプリンタに指定し、本ソフトで連続印刷の機能を利用した場合、個々の画像を出力する度に、保存先を指定するダイアログが表示されてしまいますので、ご利用はお勧めしません。

9. 本ソフトのボタン等の選択状態（フォーカス）の移動について

Windows の PC で本ソフトの画面が選択された状態でキーボードの「Tab」キーを押すと、本ソフト上に存在するボタンなどの項目の選択状態(以下、フォーカスと呼びます)が移動して行きます。例えば、下図のように「開く」ボタンが選択されている状態で、「Tab」キーを押していくと、下図の赤矢印のように順方向にフォーカスが移動して行きます。最後の「次の画像>」ボタンにフォーカスがある状態で「Tab」キーを押すと最初の「開く」ボタンにフォーカスが戻ります。

また、「Shift」キーを押しながら「Tab」キーを押すと、この逆の順でフォーカスが移動していきます。

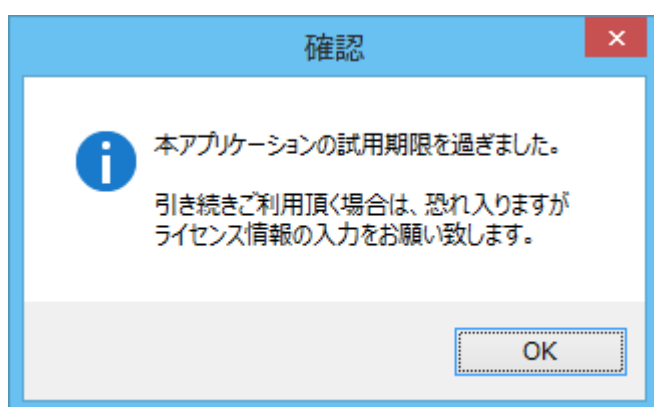


ちなみに、上図のファイルリストにフォーカスがある場合ですが、フォーカスが当たっているか分かりづらくて恐縮ですが、このファイルリストにフォーカスがあると、キーボードの上下の矢印キー(↑↓)でファイルの選択を移動させることができます。ファイルリストについては、Tab キーだけでなく、ファイルリストのファイルをクリックした時もファイルリストにフォーカスが当たります(移動します)。

また、フォーカスが任意のボタンにある状態でキーボードの上下の矢印キー(↑ ↓)を押すと、「Tab」キーとは異なり、ボタン間のみでフォーカスが移動します。例えば上矢印キーを押すと、逆方向に移動し、下矢印キーを押すと順方向にフォーカスが移動します。**補足になりますが、任意のボタンにフォーカスがある場合、Enter キーでそのボタンが押下されます。**ここまで、本ソフトのフォーカスの移動についてご説明しました。

10. ライセンス情報の入力について

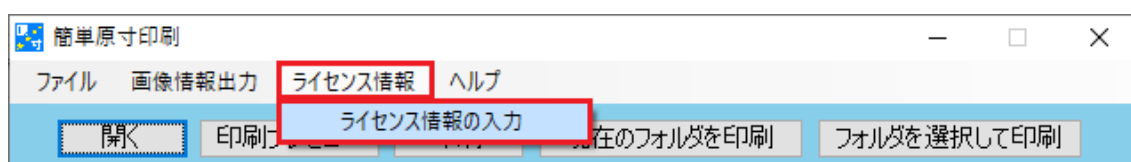
本ソフトの試用可能期間は初回起動日を含む 15 日間となっておりますので、試用期間を過ぎると、本ソフト起動時に下図のようなメッセージが表示されます。



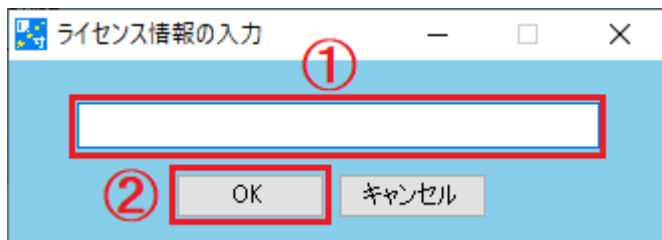
※上図は Windows8 の場合の画面例となります。

上図のメッセージが表示された場合、本ソフトの「ファイル」メニューの「終了」, 「ライセンス情報」メニュー、及び、「ヘルプ」メニュー、メインウィンドウの「X」ボタン以外のメニューやボタンの操作ができなくなります。本ソフトを引き続きご利用になる場合は、ライセンスをご購入頂き、本ソフトにライセンスキーを入力して頂く必要があります。**ライセンスは 1 台の PC につき、1 ライセンスとなりますので、複数の PC でご利用の場合は、ご利用の台数分のライセンスのご購入をお願い致します。**

では、ここからは、ライセンスキーがお手元にあることを前提として、具体的なライセンスキーの登録方法についてご説明します。本ソフトを起動して頂き、画面上部の「**ライセンス情報**」というメニューをクリックして頂き、さらに「**ライセンス情報の入力**」というメニューをクリックします。

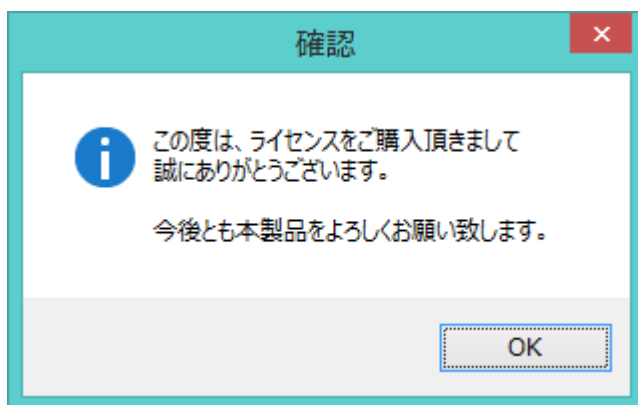


すると、下図のような画面が表示されます。ここで、下図の**赤枠部の①**の部分にお手元にある**ライセンスキー**を半角英数文字で入力します。また、ライセンスキー内のハイフン(マイナス) 記号も省略せずに入力してください。入力したら下図の**赤枠部の②**の「OK」ボタンをクリックします。



※補足になりますが、上図のウィンドウの「×」ボタンですが、本ソフトの仕様により無効になっておりますので、あらかじめご了承ください。

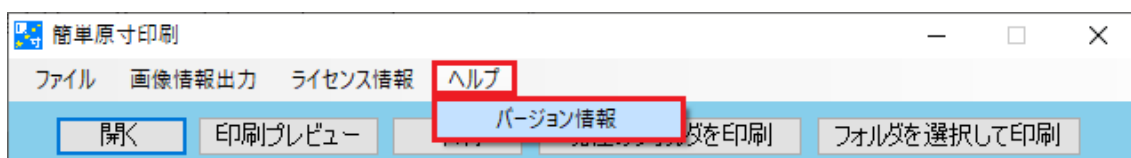
ライセンスの登録が完了すると、下図のようなメッセージが表示され、これ以降、本ソフトの機能が継続して利用できるようになります。



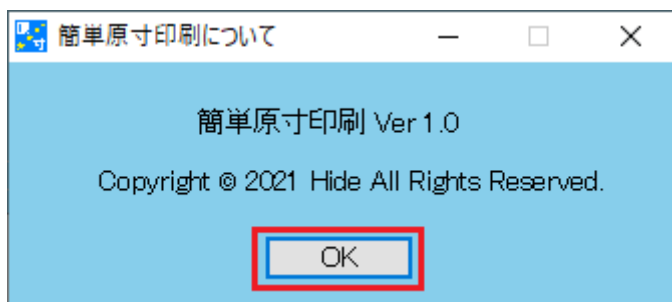
※上図は Windows8 の場合の画面例となります。

11. ヘルプメニューとバージョン情報の確認について

本ソフトには下図のようにヘルプメニューがありますが、ヘルプメニューからは「バージョン情報」を確認できます。バージョン情報を確認するには、下図のように「ヘルプ」メニューをクリックして頂き、さらに「バージョン情報」というメニューがありますので、こちらをクリックします。



すると、下図のような画面が表示されます。情報を確認できましたら「OK」ボタンをクリックしてください。



※補足になりますが、上図のウィンドウの「×」ボタンですが、本ソフトの仕様により無効になっておりますので、あらかじめご了承ください。

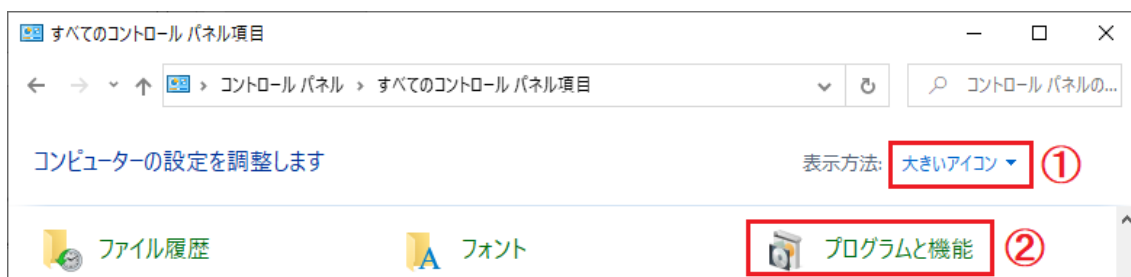
ここまでバージョン情報の確認方法についてご説明しました。

12. 本ソフトのアンインストール（削除）について

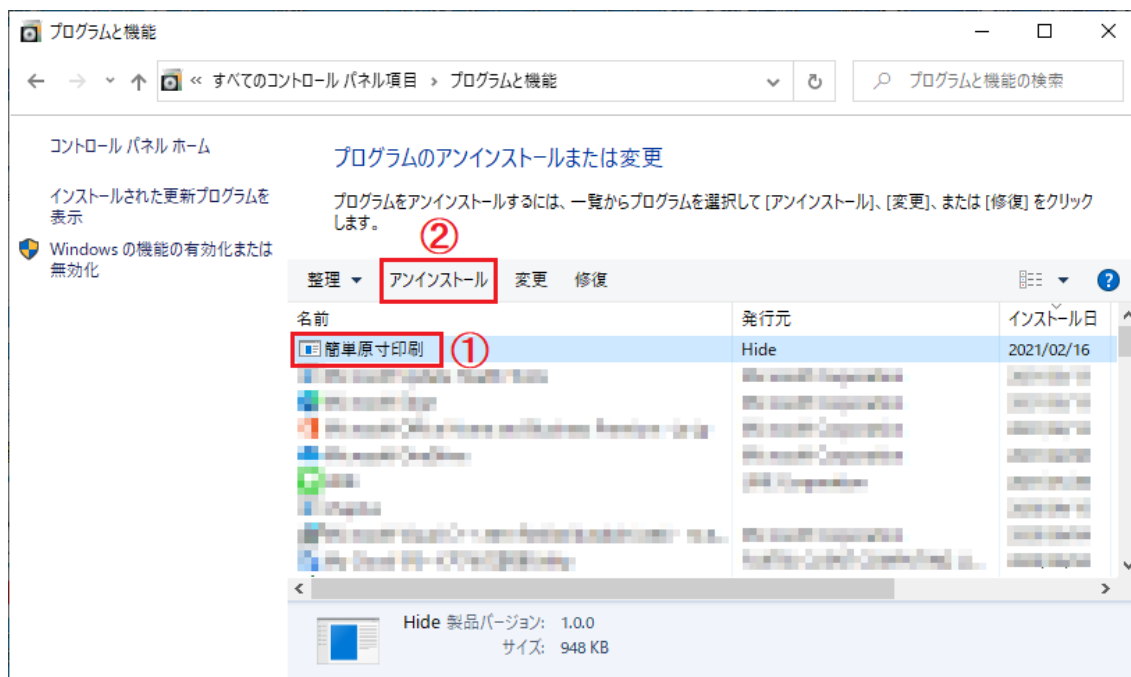
本ソフトのご利用を中止される場合は、本ソフトのアンインストールを行ってください。本ソフトのアンインストール方法は2つあります(※アンインストール中にエラーが出る場合は、後述の「12-3. アンインストールについてのトラブルシューティング」をご覧ください。)

12-1. コントロールパネルからアンインストールする

1つ目の方法ですが、コントロールパネルからアンインストール方法となります。まず、Windowsの「スタートメニュー」からキーワード「W」の項目の中の「Windows システム ツール」をクリックして頂き、その中の「コントロールパネル」をクリックします。すると、下図のように「コントロールパネル」の画面が開きますので、表示方法を「大きいアイコン」にした上で「プログラムと機能」という部分をクリックします。



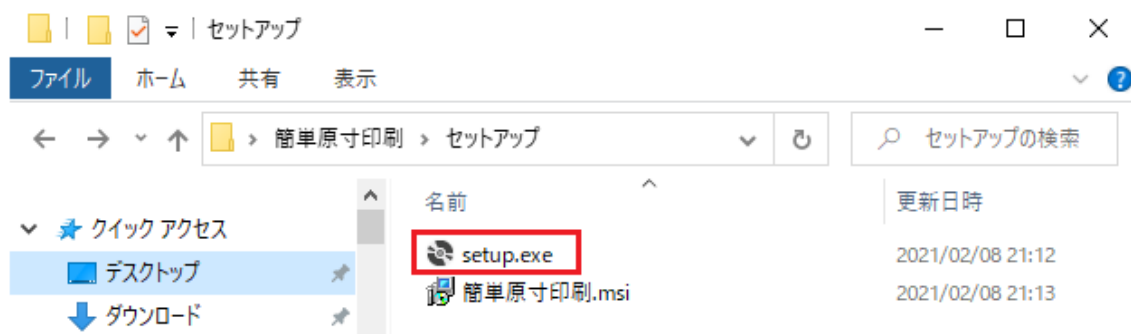
すると、下図のように「**プログラムと機能**」という画面が表示されますので、画面内のプログラムの一覧から下図**赤枠部①**のように「**簡単原寸印刷**」を探して頂き、この名前の部分をクリックした上で、下図**赤枠部②**の「**アンインストール**」という部分をクリックします。



本ソフトが正常に削除されると、上図の一覧から「**簡単原寸印刷**」の名称が消えますのでご確認ください(この手順の場合、削除完了のメッセージは表示されません)。

12-2. 本ソフトのセットアッププログラムを利用してアンインストールする

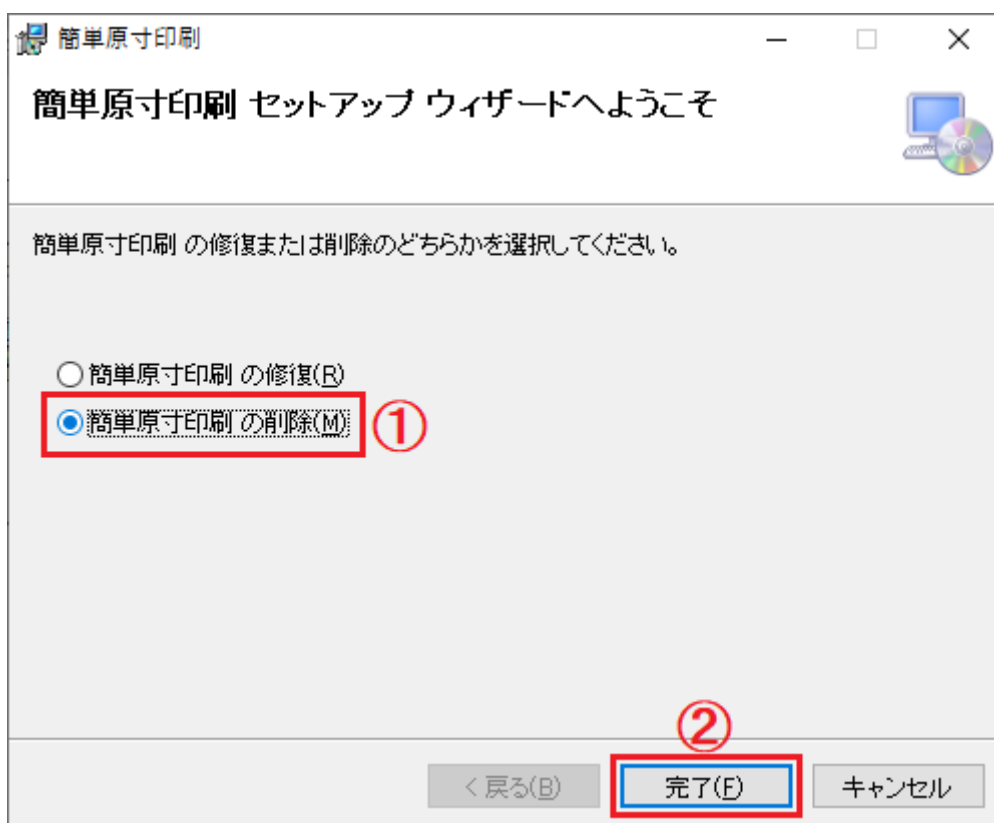
2 つめの方法ですが、本ソフトをセットアップする際に利用したプログラムを利用する方法です。この方法でアンインストールする際の注意点ですが、本ソフトをインストールする際に使用した(同じバージョンの)セットアッププログラム(setup.exe)を使用する必要があります。では、まず初めに、下図のように本ソフトの「セットアップ」フォルダにある「**setup.exe**」というプログラムをダブルクリックします。



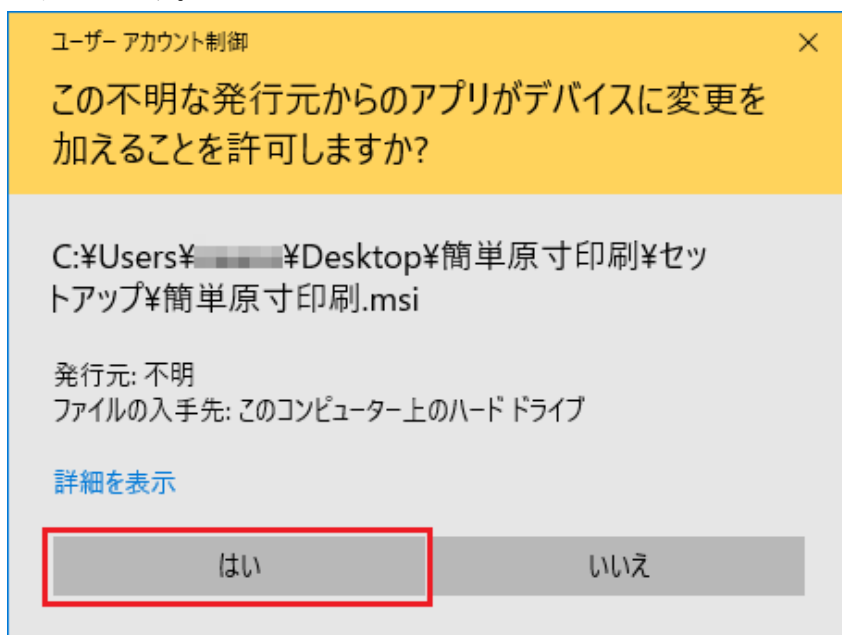
しばらくすると、下図のような画面が表示されますので、そのままお待ち頂きます。



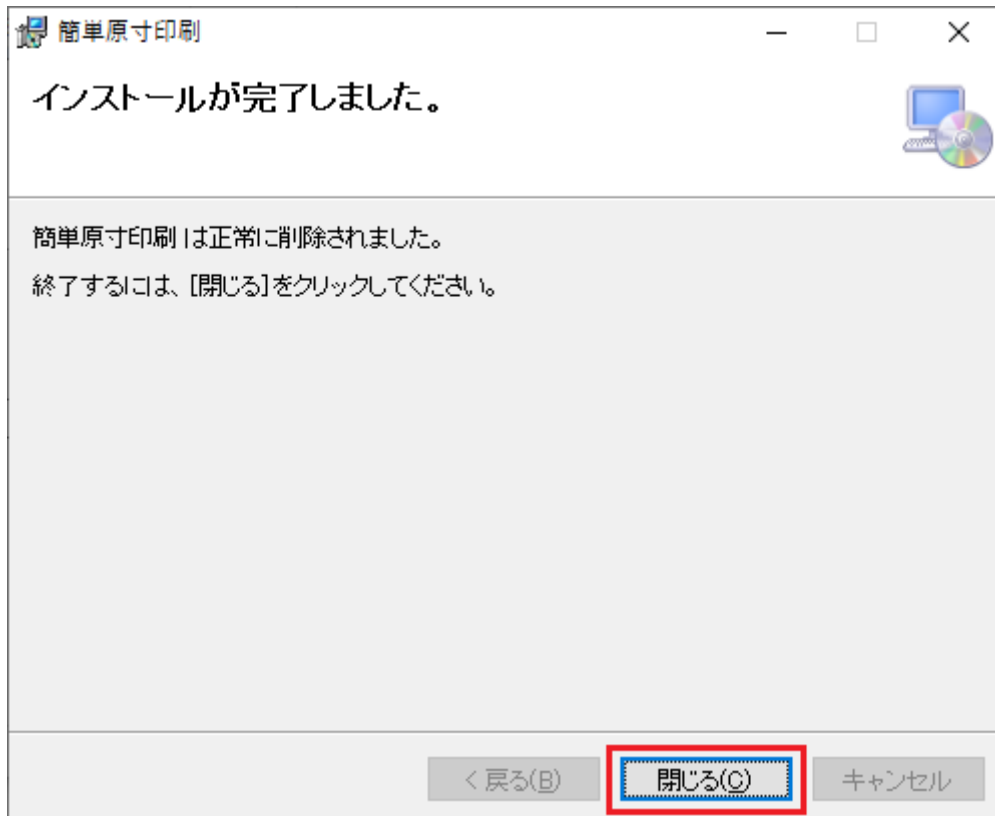
すると、下図のような画面が表示されますので、下図赤枠部①の「**簡単原寸印刷の削除**」という部分にチェックして頂き、下図赤枠部②の「**完了**」ボタンをクリックします。



次に、下図のような「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

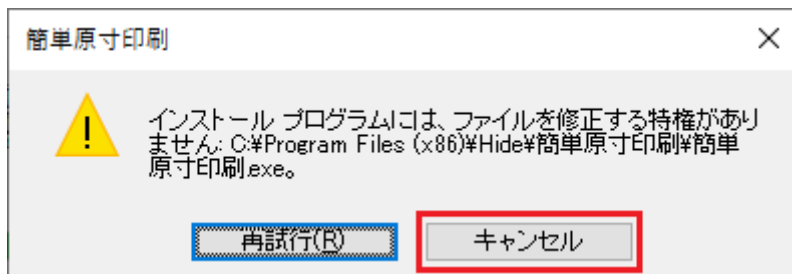


アンインストールの処理が実行され、最後に下図のような画面が表示されたら「閉じる」ボタンをクリックします。これでアンインストールは完了となります。

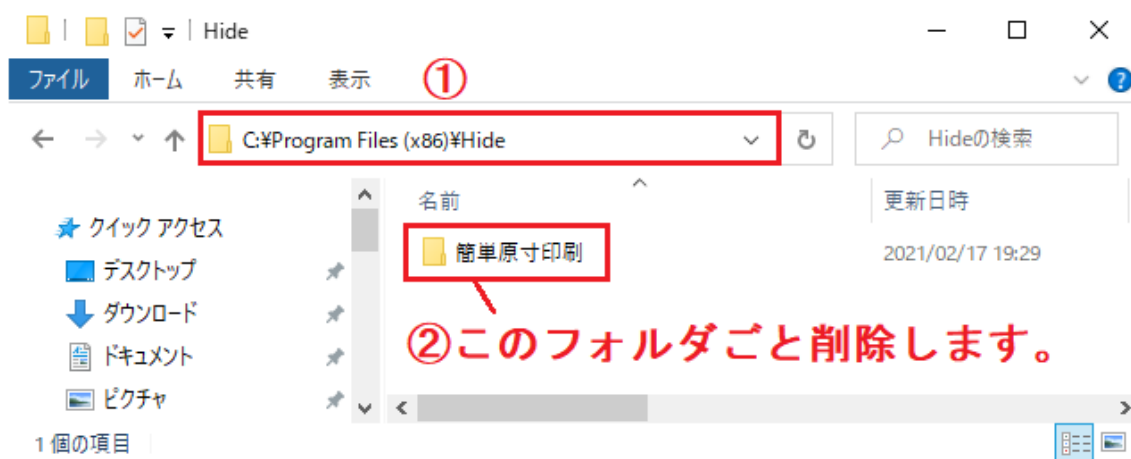


12-3. アンインストールについてのトラブルシューティング

前述の手順 12-1.または手順 12-2.の方法で本ソフトをアンインストールしようとした際に下図のようなメッセージが表示された場合は、セキュリティソフトにより本ソフトのプログラムがブロックされている可能性がありますので、一旦、下図の画面で「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



上図のようなメッセージが表示されてアンインストールできない場合は、まず初めに、下図のようにエクスプローラーで下図**赤枠部①**のように、本ソフトをインストールしたフォルダパスの途中の「C:\Program Files (x86)\Hide」まで開いて頂き(Windows 64bit の場合)、その中の「簡単原寸印刷」というフォルダについて、フォルダごと削除してください。



※上図は Windows が 64bit の場合のパスとなります。インストール先が異なる場合や Windows が 32bit の場合は、パスを読み替えてください。

上図の操作でフォルダが削除できましたら、改めて、前述の手順 12-1.または手順 12-2.の方法で、本ソフトをアンインストールしてみてください。

ここまで、本ソフトのアンインストール方法についてご説明しました。

13. 本ソフトのバージョンアップについて

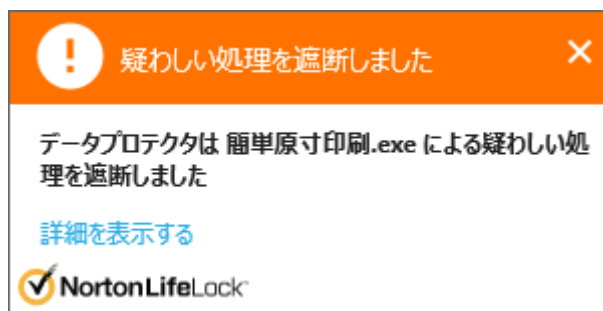
本ソフトのバージョンアップ版が出た場合ですが、本資料の「12. 本ソフトのアンインストール（削除）について」の手順にて、一旦、本ソフトをアンインストールして頂いた上で、改めて、バージョンアップ版のインストールを実施頂く必要があります。バージョンアップ版のインストール手順は、別紙の「【簡単原寸印刷】インストール手順書」と同じとなります。お手数ですが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

14. トラブルシューティング

ここからは、本ソフトの起動時やご利用時のトラブルシューティングについてご説明させていただきます。

14-1-1. 本ソフトの起動時や利用中に Norton のエラーが表示される（ケースその 1）

本ソフトの起動時や利用中に下図のようなエラーが画面右下に表示された場合、本ソフトのインストール先フォルダやプログラムに対して Norton のセキュリティチェックの除外設定が正しく行われていない可能性があります。



上図のエラーが表示された場合、お手数ですが、「【簡単原寸印刷】インストール手順書」の「インストール先フォルダのセキュリティチェックの除外設定を行う」の部分「手順 3-1-12. ～3-1-19.」及び「手順 5. インストール先のプログラムやフォルダのセキュリティチェックの除外設定を行う」の部分でご説明している Norton の設定をご覧頂き、こちらの設定を行って頂いた上で、再度本ソフトを起動して使用してみてください。

14-1-2. 本ソフトの起動時に下図のようなエラーが表示される（ケースその 2）

本ソフトの起動時に下図のようなエラーが表示された場合、Norton などのセキュリティソフトにより、本ソフトの起動プログラムが不正なプログラムと認識され、起動できなくなってしまう可能性があります。

このアプリはお使いの PC では実行できません

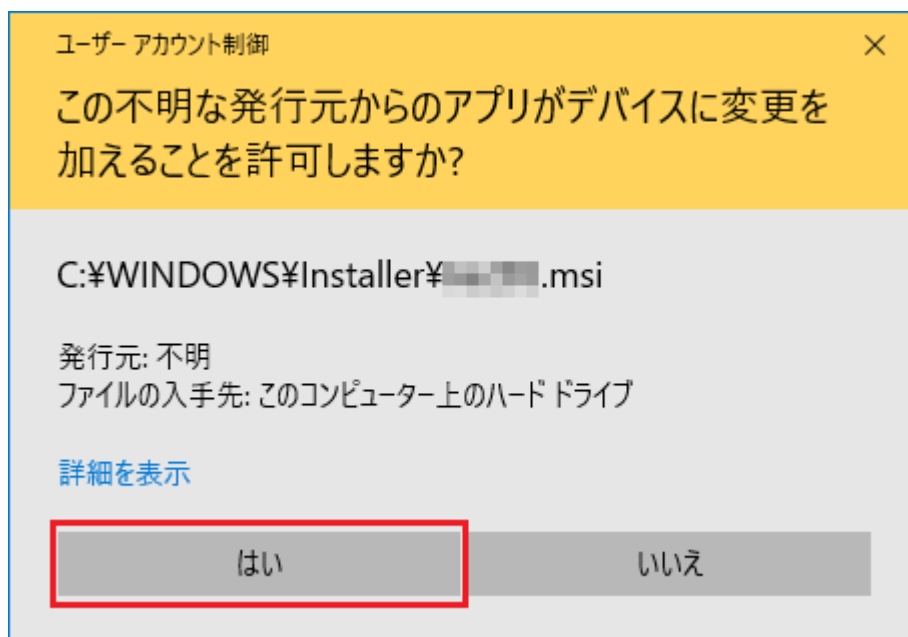
この PC で使用できるアプリのバージョンについては、ソフトウェア発行元に確認してください。

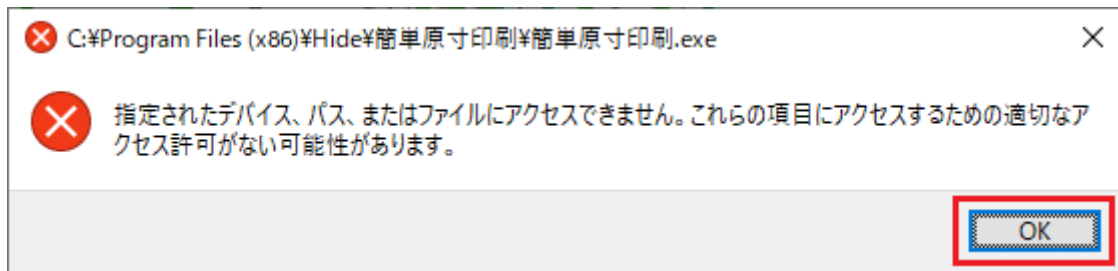
閉じる

上図のメッセージが表示される原因は、先ほどのケースその 1 と同じで、本ソフトのインストール先フォルダに対して Norton のセキュリティチェックの除外設定が正しく行われていなかった可能性があります。この場合、大変お手数ですが、本資料の「**12. 本ソフトのアンインストール（削除）について**」の手順で、一旦、本ソフトをアンインストールして頂き、別紙の「**【簡単原寸印刷】インストール手順書**」の手順 3.～6.を再度ご参照頂き、正しい手順で本ソフトのインストールの実施をお願い致します。

14-1-3. 本ソフトの起動時に下図のようなエラーが表示される（ケースその 3）

本ソフトの起動時に下図のような 2 つのメッセージやエラーが立て続けに表示された場合、前述のケースその 2 と同様に、Norton などのセキュリティソフトにより、本ソフトのプログラムが不正なプログラムと認識され(この場合、本ソフトのプログラムが削除され)、起動できなくなってしまった可能性があります。

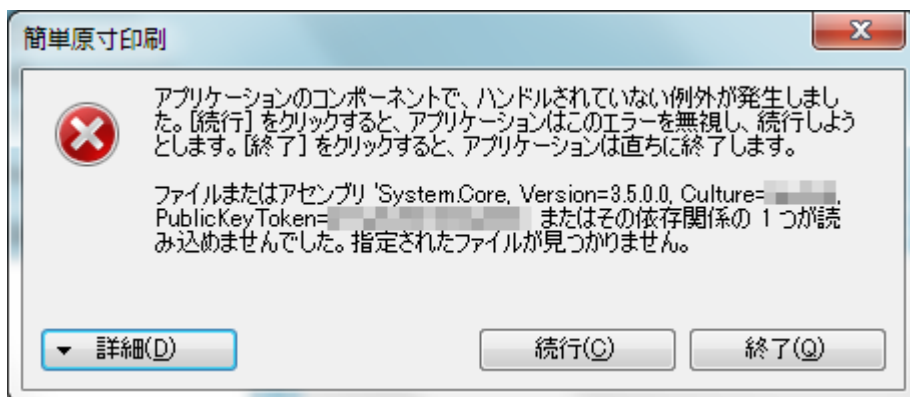




上図のメッセージが表示される原因は、先ほどのケースその 1 やケースその 2 と同じで、本ソフトのインストール先フォルダに対して Norton のセキュリティチェックの除外設定が正しく行われていなかったためと考えられます。この場合、大変お手数ですが（対処法はケースその 2 と同じですが）、本資料の「**12. 本ソフトのアンインストール（削除）について**」の手順で、一旦、本ソフトをアンインストールして頂き、別紙の「**【簡単原寸印刷】インストール手順書**」の手順 3.~6. を再度ご参照頂き、正しい手順で本ソフトのインストールの実施をお願い致します。

14-2. 本ソフトの「開く」などのボタンをクリックした際にエラーが表示される

本ソフトの「開く」などのボタンをクリックした際に下図のようなエラーが表示される場合は、本ソフトのご利用に必要な「**.NET Framework 3.5 の有効化**」がされていない可能性があります。お手数ですが、「**【簡単原寸印刷】インストール手順書**」の「**2. .NET Framework 3.5 の有効化の確認**」の手順を再度ご確認頂いた上で、改めて本ソフトを操作してみてください。



14-3. 本ソフトが他のウィンドウに隠れてしまう

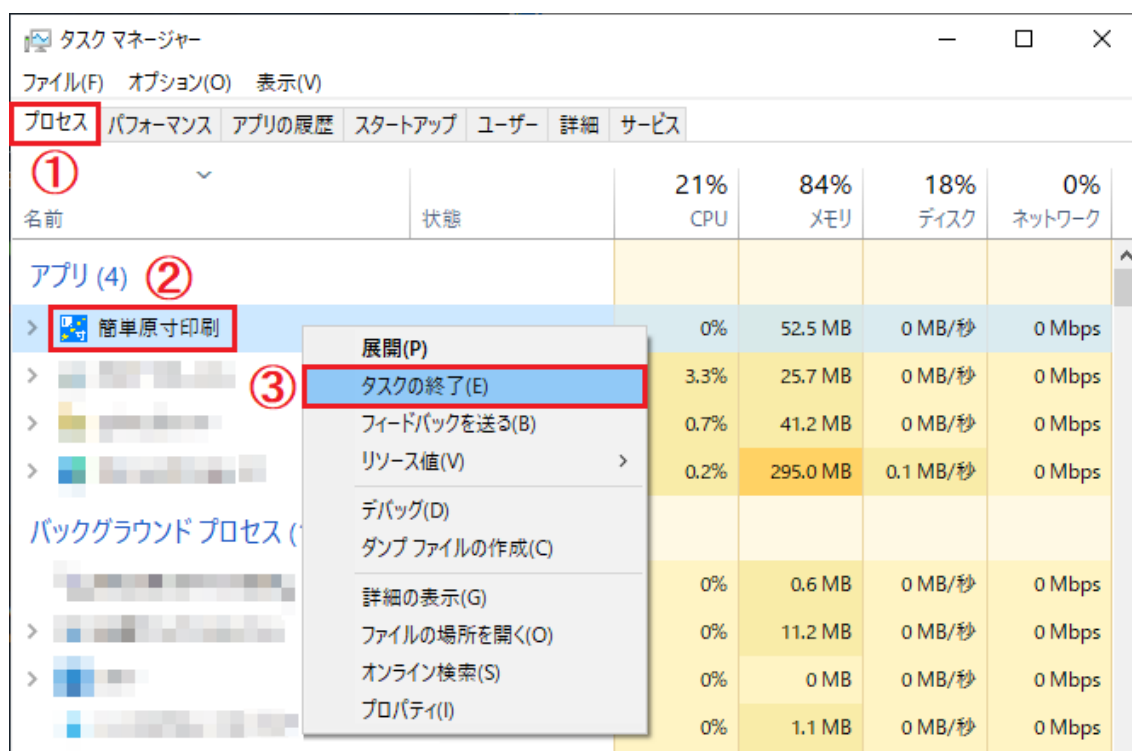
本ソフトの起動時やご利用中に本ソフトのメインウィンドウやメッセージの画面が隠れてしまった場合は、下図赤枠部の Windows のタスクバーにある本ソフトの「**原寸**」と描かれ

たアイコンをクリックしてみてください。この操作により、本ソフトが前面に表示されてきます。



14-4. 本ソフトを強制終了したい場合

本ソフトがフリーズや応答なしの状態になることは、基本的には想定しておりませんが、もし何らかの理由で本ソフトが「応答なし」となった場合や、本ソフトの終了メニューや「×」ボタンから終了できなくなった場合など、本ソフトを強制終了されたいケースが発生した場合は、大変お手数ですが、Windows のタスクマネージャーから本ソフトの終了をお願い致します。では、ここから具体的な操作方法のご説明になりますが、キーボードで「Ctrl」キーと「Shift」キーを同時に押した状態で「ESC」キーを押して頂くと、下図のように「タスクマネージャー」のウィンドウが表示されますので、下図赤枠部①の「プロセス」タブにおいて、アプリという部分から下図赤枠部②のように「簡単原寸印刷」を探して頂き、この部分をマウスで右クリックして、下図赤枠部③のようにメニューから「タスクの終了」をクリックします。この操作にて本ソフトを強制的に終了させることができます。



ここまで、トラブルシューティングについてお伝えしました。

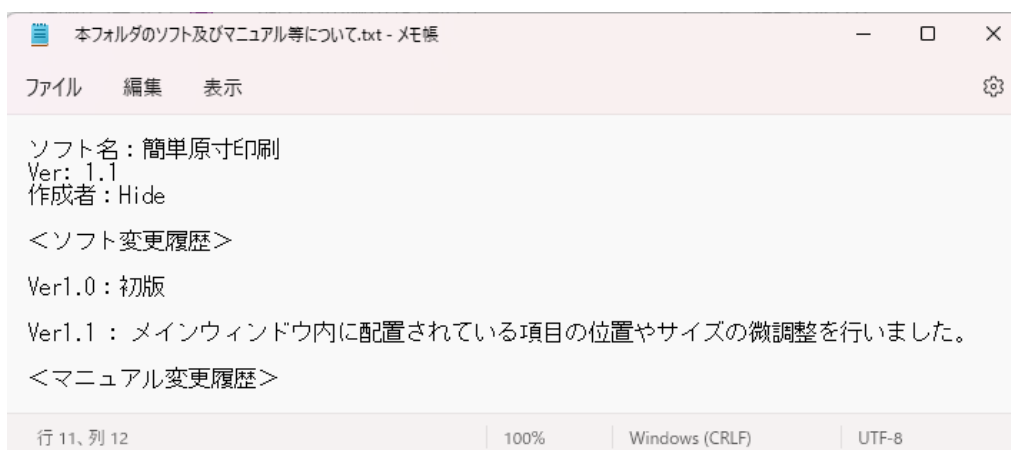
15. 本ソフトのその他の補足事項について

15-1. 本ソフトのデータ処理中の動きについて

本ソフトで画像を開いたり、連続印刷などを実行中など、本ソフトがデータを処理中の状態となった場合、本ソフト上に配置されたボタンなどがグレースアウトしてクリックできない状態となることがあります。この動作は仕様となりますので、ご留意頂ければ幸いです。

15-2. 本ソフトのバージョン情報やマニュアル変更履歴等を記述したファイルについて

本ソフトのバージョン情報は、本ソフトのヘルプメニューのバージョン情報や本資料の表紙などに記載されていますが、本資料が格納されたフォルダにも下図のように「本フォルダのソフト及びマニュアル等について.txt」というファイルにバージョン情報やマニュアル変更履歴に関する情報を記述しています。今後、本ソフトのアップデート等がされた場合に、このテキストファイルを開いて素早くバージョン情報等を確認できるようにすることで、旧バージョンのセットアッププログラムやマニュアルが格納されたフォルダと区別しやすくするためです。



ここまで、本ソフトの操作方法や補足情報についてご説明しました。

本資料のご説明は以上となります。

本マニュアルをお読み頂き、誠にありがとうございます。

今後とも本製品をよろしくお願い申し上げます。

Copyright © 2021 Hide All Rights Reserved.